令和２年度

水道事業年報

出西水源地（上空から撮影）

斐川宍道水道企業団

目　次

Ⅰ　上水道事業の概要 …… 1
1．水道事業のあゆみ …… 1
2．令和２年度の事業概要 …… 2
3．上水道の推移 …… 3
4．簡易水道統合整備事業の概要 …… 5
5．令和３年度の事業計画 …… 6
6．給水区域 …… 8
7．施設の概要 …… 9
Ⅱ　業務概要 …… 17
1．配水量・有収水量の動き …… 17
2．用途別有収水量と給水収益 …… 18
3．給水装置工事申請件数 …… 18
4．量水器取替及び小修理工事件数 …… 18
5．薬品・主要施設電力使用状況 …… 19
6．検針・収納関係 …… 20
7．業務の状況 …… 26
8．水質検査結果 …… 28
Ⅲ　財務状況 …… 30
1．令和２年度決算書 …… 30
2．損益計算書 …… 31
3．貸借対照表 …… 32
4．損益計算の推移 …… 33
5．財務比率・経営比率 …… 35
6．料金原価 …… 39
Ⅳ　工業用水道事業の概要 …… 40
Ⅴ　機構と組織 …… 48
1．機構図 …… 48
2．事務分掌 …… 49
付　　表 …… 50
1．水道年表 …… 50
2．施設所在地 …… 54
3．指定業者協議会 …… 55
4．指定給水装置工事事業者 …… 56
5．送配水フロー図・管内図 …… 60

Ⅰ　上水道事業の概要

Ⅰ　上水道事業の概要

１．水道事業のあゆみ

本企業団は斐川村と宍道町の共同事業により、昭和 34 年 12 月に厚生大臣から広域簡易水道事業の認可を受け、斐伊川右岸の斐川町大字出西７６２番地付近に取水井２本を水源として第１配水池（出西 V=1,250 ㎥）第２配水池(佐々布 V=250 ㎥）を設置し、計画給水人口 28,000 人、一日最大給水量 4,620 ㎥とする斐川村宍道町水道組合を発足させて、昭和 36 年 8 月 11 日から供用を開始しました。

第１期拡張事業は、計画給水区域外の住民の熱望により昭和 39 年に新たに宍道町の小松、浜の二地区を給水区域に加え、第３配水池(白石 V=50 ㎥）を設置して計画給水人口 28,600 人、一日最大給水量 4,770 ㎥へと増強しました。

また、昭和 41 年には玉湯町(6,000 ㎥/月)へ、そして昭和 42 年には平田市（一日最大給水量 75 ㎥）へそれぞれ分水を開始しました。

そして、昭和 40 年代に入ると著しい生活水準の向上に伴って家庭用水の水需要量は飛躍的に伸び、給水戸数 2,874 戸、使用水量は 642,700 ㎥になりました。加えて工場進出などによる産業用水も急増して計画給水量を突破するようになったことから、昭和 45 年から第２期拡張事業に着手し、今後の水需要増にも対応できるように取水井 3 本の新設と第４配水池（出西 V=2,000 ㎥）、第５配水池（佐々布 V=1,000 ㎥）を設置し、一日最大給水量を 11,300 ㎥に増加させ、昭和 48 年に完成しました。

さらに、玉湯町への分水増量と宍道町内の安定供給を図るため、昭和 49 年に来待バイパス線配水管布設事業、倉敷受水槽(V=1,000 ㎥)建設事業にも着手しました。

昭和 52 年からは目標年次を昭和 60 年として、給水人口 36,000 人、一日最大配水量 22,000 ㎥とする第３期拡張事業に着手しました。これは、新たな給水区域として宍道町佐々布、白石、来待で９地区を編入すると共に、取水量を確保するため６番目の取水井の建設、第６配水池（直江町 V=3,000 ㎥）の設置、導水管の布設、分水量増加に伴う送水管の布設等を施行し、昭和 55 年 6 月に完成しました。この結果、分水量も玉湯町へ 2,000 ㎥/日、平田市へ 200 ㎥/日分水できるようになりました。

その後、より高水準な水道をめざして平成２年から増補改良事業に着手し、石綿セメント管の布設替え、第２取水井の更新、災害時の対策と水圧不足地域解消のための第７配水池（荻田 V=10,000 ㎥、GL=65.0m）の築造、併せて緊急遮断弁の設置を行い、第１期増補改良事業は平成 11 年度に完了しました。

引き続き、21世紀においても「安全でおいしい水の安定供給」を続けるため、平成 12 年度から更に 12 ヵ年計画で第2期増補改良事業を計画し、残る石綿セメント管の更新や第8配水池への送水管の布設、第4取水井の更新を行い、平成 20 年度からは、送水ポンプ棟の建築、電気機械設備の新設、第8配水池の築造、除鉄除マンガン濾過施設の新設、次亜塩素滅菌設備の新設、紫外線照射施設等の整備を進め、平成 23 年度に完了しました。

さらに、平成 23 年 10 月には宍道町５地区簡易水道事業、平成 24 年 4 月には大黒山麓地区簡易水道事業、平成 29 年 4 月には阿宮地区簡易水道事業、島村地区簡易水道事を統合しました。

令和元年度には、出西水源地において除鉄・除マンガン施設を整備しました。

２．令和２年度の事業概要

今年度は給水人口、給水件数が増加となりました。その結果、給水収益は 597,528 千円となり前年度と比較して 9,099 千円の増加となりました。

収益的収支（消費税及び地方消費税抜）は、収益が 759,461 千円、費用が 679,566 千円で差引 79,895 千円の純利益となりました。

（業務の状況）

今年度の給水件数は 15,918 件で前年度と比較して 380 件(2.4%)増加し、給水人口は 38,718 人で前年度と比較して 399 人（1.0%)の増加となりました。

年間総配水量は前年度と比較して 17,140 ㎥（0.4%)増加して 4,649,314 ㎥となり、年間総有収水量は 4,168,912 ㎥で 78,719 ㎥(1.9%) の増加となりました。新築住宅や集合住宅の増加により、一般家庭の使用水量が増加したことが主な要因です。

なお、有収率は 89.7％となり、前年度に比べ 1.4 ポイント向上しました。これは令和２年度に実施した漏水調査により特定された箇所を迅速に修繕したことによるものです。

（財政の状況）

収益的収支（消費税及び地方消費税抜）については、収益は前年度と比較して 10,900 千円(1.4%)減の 759,461 千円、費用は前年度と比較して 2,285 千円(0.3%)増の 679,566 千円となり 79,895 千円の純利益となりました。

収益については加入金の減により減額となりました。また、費用については、漏水修理における工事請負費、減価償却費の増などにより増額となりました。

次に、資本的収支（消費税及び地方消費税込）については、収入が 460,400 千円（企業債 350,900 千円、工事負担金 6,595 千円、負担金 10,464 千円、他会計負担金 40,441 千円、工業用水道事業への長期貸付金返戻金 52,000 千円）となり、支出は 772,402 千円（建設改良費 475,219 千円、企業債償還金 297,183 千円）となりました。

なお、資本的収支の差引不足額 312,002 千円については、消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金で補填しました。

（一般拡張・改良工事）

クリプトスポリジウム等対策のため、阿宮浄水場において紫外線処理施設を整備しました。

また、斐川町内で９ヵ所、宍道町内で１ヵ所の老朽管改良工事等を行い、配水施設の機能向上を図りました。その他、公共事業に伴う支障移転工事３件を行いました。

今後は今年度策定した管路更新計画に沿って、計画的に施設更新を行なってまいります。

将来的に、給水人口の減少や節水意識の浸透、節水機器の高機能化と普及により使用量は微減傾向を示しながら推移し、水道使用料の大きな増加が見込めないことが予想されるため、昨年度に策定した「水道事業ビジョン」を指針とし、引き続き計画的かつ効率的な事業運営を行ってまいります。

３．上水道の推移

（１）事業の実施状況

項目＼事業名	創設	第１期拡張事業	第２期拡張事業
認可年月日	昭和３４年１２月１１日	昭和３９年　３月３１日	昭和４５年　３月１３日
計画給水人口	２８，０００人	２８，６００人	２８，６００人
計画１日最大給水量	４，６２０㎥	４，７７０㎥	１１，３００㎥
１人１日最大給水量	１５０Ｌ	１５０Ｌ	３８０Ｌ
着工年月日	昭和３５年　２月１８日	昭和３９年　８月２７日	昭和４５年　６月１９日
竣工年月日	昭和３７年　３月３１日	昭和３９年１１月３０日	昭和４８年　３月２５日
事業費	２２８,１２９千円	８,２３０千円	１７６,１４５千円
主要設備	＊取水施設 取水井　→2井 導水管　⌀200　203m ＊送水施設 ポンプ　→4台 送水管　⌀300　280m ＊配水施設 配水池　→２池 (第1配水池) 1,250㎥ (第2配水池) 250㎥ 配水管　⌀400～⌀100 61,484m	＊送水施設 送水管　⌀75　560m ＊配水施設 配水池　→1池 (第3配水池) 50㎥ 配水管　⌀125～⌀100 1,760m	＊取水施設 取水井　→3井 (№3・№4・№5) 導水管φ200　378m ＊送水施設 ポンプ　→4台 送水管　⌀300　464m ＊配水施設 配水池　→2池 (第4配水池) 2,000㎥ (第5配水池) 1,000㎥ 配水管　⌀400～⌀200 3,793m

増補改良事業 (来待バイパス・倉敷受水槽)	第３期拡張事業	増補改良事業 (第１期事業)	増補改良事業 (第２期事業)
－	昭和５２年　４月２０日	－	－
２８，６００人	３６，０００人	３６，０００人	３７，３００人
１１，３００㎥	２２，０００㎥	２２，０００㎥	２０，１０８㎥
３８０Ｌ	５５０Ｌ	５５０Ｌ	４８５Ｌ
昭和４９年１２月２８日	昭和５２年　７月　５日	平成　２年　４月　１日	平成１２年　４月　１日
昭和５２年　６月２０日	昭和５５年　６月３０日	平成１２年　３月３１日	平成２４年　３月３１日
４７１,１９３千円	１,７９０,０００千円	３,８０７,６１０千円	２,０７５,０００千円
来待バイパス線配水管布設 (293,039 千円) ＊配水施設 (白石配水ポンプ場) 受水槽　250m3→１ヵ所 配水ポンプ　→３台 配水管　⌀250～⌀200 9,227m 倉敷受水槽設置事業 (178,154 千円) ＊配水施設 (宍道配水ポンプ場) 受水槽 1,000m3 →1 ヵ所 配水ポンプ　→６台 (水道局庁舎建設) 昭和 53 年 1 月 30 日竣工 事業費　80,000 千円 敷地面積　795 ㎡ 鉄骨 3 階建て　416.13 ㎡ (延 866.44 ㎡)	＊取水施設 取水井　→1 井 (№.6) 導水管 ⌀250　250m ＊送水施設 (荘原加圧ポンプ場) ポンプ　→６台 送水管　⌀450～⌀250 9,010m ＊配水施設 配水池　→１池 (第６配水池) 3, 000 ㎥ 配水管　⌀600～200 14,180m ＊遠隔監視制御システム導入	＊取水施設 取水井　→1 井 (№.7) 取水井更新 →２井 (№.1・№.6) ＊配水施設 配水池　→１池 (第７配水池) V= 10,000 ㎥ 配水管布設替え (石綿セメント管) L=47.600m 緊急遮断弁設置→2 池 (第４・第７配水池)	＊取水施設 取水井更新 →2 井 (№.2・№.4) ＊配水施設 配水池　→１池 (第８配水池) V=10,000 ㎥ 緊急遮断弁設置 ＊送水施設 ポンプ場　→1 棟 ポンプ　→4 台 送水管　→φ500 L=5,000m ＊配水管布設替 (石綿セメント管更新) L=13.900m ＊塩素滅菌設備更新 次亜塩素酸ﾅﾄﾘｳﾑ滅菌設備 ＊耐塩素性病原生物対策 紫外線照射設備 ＊赤水対策 除鉄・除マンガン濾過装置

第３期拡張事業 第１回変更	第３期拡張事業 第２回変更	第３期拡張事業 第３回変更	第３期拡張事業 第４回変更	第３期拡張事業 第５回変更
平成２１年3月31日	平成２５年2月２０日	(届出) 平成２９年3月1日	(届出) 令和元年8月２２日	令和2年5月２９日
３６，０００人	３７，５００人	３８，０００人	３８，０００人	３９，０００人
２０，０００㎥	１８，０００㎥	１８，０００㎥	１８，０００㎥	１９，０００㎥
５５０Ｌ	４８０Ｌ	４７３Ｌ	４７３Ｌ	４８７Ｌ
平成21年4月　1日	平成２５年４月１日	－	令和元年8月２６日	令和2年8月1日
平成２３年3月３１日	平成２７年3月３１日	－	令和2年3月３１日	令和3年3月３１日
1，738，000千円	４６３，４００千円	－	５６４，３５５千円	１１６，０５０千円
紫外線照射設備導入、除鉄･除マンガン装置導入における浄水方法の変更	統合した簡易水道の施設整備や水源変更 ＊取水施設 取水井更新→1井 ＊配水施設 配水池→１池 ポンプ場→1ヵ所 簡易水道統合整備事業 平成２３年１０月統合 宍道地区 平成２４年４月統合 大黒山麓地区	簡易水道統合整備事業 平成２９年4月統合 阿宮・島村地区	除鉄・除マンガン装置導入による浄水方法の変更	阿宮浄水場に紫外線照射設備導入による浄水方法の変更

４．簡易水道統合整備事業の概要

（１）宍道地区簡易水道統合整備事業

◆事業概要

宍道町の菅原簡易水道、佐々布旭・畑簡易水道は、水源に乏しく、隣接する斐川宍道水道企業団から分水を受け給水してきました。

また、同町の佐倉・田根簡易水道、和名佐・小林簡易水道、金山簡易水道は、自己水源（井戸）により給水を行ってきましたが、近年水源枯渇の傾向にありました。

このため、宍道町 5 簡易水道（菅原、佐々布旭・畑、佐倉・田根、和名佐・小林、金山）を平成 23 年 10 月に本企業団に統合し、水道水の安定供給を図るための施設整備を平成 25 年度から平成 26 年度に行いました。

◆整備内容

（１）不用となる各地区の簡易水道施設の撤去や撤去後の場内整備を行いました。

（２）佐倉・田根簡易水道について、菅原簡易水道との間に連絡管を布設し、水源転換を図りました。

（３）和名佐・小林簡易水道（深井戸）について、新たに深井戸をさく井し、安定供給

を図りました。

（４）菅原簡易水道について、大野原配水池の老朽化や容量の不足のため隣接地に配水池の新設を行いました。

（５）遠隔地となる施設との連携や緊急対応のため遠方監視設備を整備しました。

（２）大黒山麓地区簡易水道統合整備事業

◆事業概要

大黒山麓地区簡易水道は平成８年度に施設整備されています。

その水源は地すべり対策用集水井と深井戸を水源としていますが、近年、水量が極めて不安定であるとともに、降雨の影響による水量・水質に問題を抱え、給水車による上水の搬入等の対応を行っていました。

このことから水源を上水道から受水することで水量や水質の安定性を図るため、平成24年４月に統合し、平成24年度から平成26年度にかけて施設整備を行いました。

◆整備内容

上水の受水は出雲市斐川町学頭の市道に布設されている上水道施設配水管より分岐し、高低差があることから２箇所の中継ポンプ施設を経て送水管により受水タンクとなる簡易水道浄水場にある低所配水池に流入させました。

（３）阿宮地区、島村地区簡易水道事業統合

◆事業概要

国の方針により、簡易水道事業は原則として水道事業に統合することとされ、出雲市の１２の簡易水道事業の内、斐川地域の阿宮地区簡易水道事業、従来から水道水を供給している島村地区簡易水道事業を平成29年４月に統合しました。

５．令和３年度の事業計画

⑴業務予定量(当初予算書)

・給　水　件　数		15,800件
・年間総給水量		4,140,000 ㎥
・1日平均給水量		11,342 ㎥
・建設改良事業	総事業費	454,059千円
	事業内容	配水施設改良事業等

⑵予算(当初)概要

収益的収入及び支出	水道事業収益	794,900 千円
	水道事業費用	728,256 千円
資本的収入及び支出	資本的収入	365,600 千円
	資本的支出	762,200 千円
資本的収支不足額への補てん財源		
	消費税及び地方消費税資本的収支調整額	38,223 千円
	損益勘定留保資金	358,377 千円

第8配水池（直江）

６．給水区域

出雲市斐川地域

阿宮	全地区
出西	全地区
神氷	全地区
求院	全地区
併川	全地区
富村	全地区
名島	全地区
鳥井	全地区
上直江	全地区
今在家	全地区
福富	全地区
原鹿	全地区
美南	全地区
直江	全地区
沖洲	全地区
中洲	全地区
黒目	全地区
三分市	全地区
坂田	全地区
三絡	全地区
神庭	全地区
荘原	全地区
上庄原	全地区
学頭	全地区

松江市宍道地域

伊志見	全地区
佐々布	全地区
宍道	全地区
昭和	全地区
白石	全地区
西来待	全地区
東来待	全地区
上来待	全地区

出雲市島村地域

島村	全地区

第４配水池系送水ポンプ設備

７．施設の概要

(１)現有施設

施設名	施　設　概　要
水道企業団庁舎	鉄骨造３階建　延床面積　866.44 ㎡
	敷地面積　1,048 ㎡
出西水源地	
（取水井）	浅井戸　６井
	スクリーン　内径 1.2m×　深さ 18.0m　１井
	スクリーン　内径 1.2m×　深さ 18.3～18.5m　３井
	スクリーン　内径 1.0m×　深さ 15.0～20.0m　２井
（取水ポンプ）	水中ポンプ　６台
	Q＝3.47 ㎥/分　H＝12.8m　P＝15.0kw　１台
	Q＝3.00～3.48 ㎥/分　H＝14.0～17.0　P＝15.0kw　４台
	Q＝3.47 ㎥/分　H＝20.0m　P＝18.5kw　１台
（受水槽）	着水槽
	ＲＣ造　14.5m×1.5m(21.8 ㎡)　１槽
	受水槽
	ＲＣ造　7.2m×8.2m(59.0 ㎡)　２槽
（塩素滅菌設備）	前塩設備
	次亜貯留槽　500ℓ　１槽
	次亜注入ポンプ　70－210ℓ/分―40W　５台
	後塩設備
	次亜受入貯留槽　５㎥　２槽
	次亜貯留槽　500ℓ　１槽
	次亜注入ポンプ　130－540ℓ/分―90W　２台
（除鉄除マンガン濾過設備）	濾過ポンプ棟　RC 造　100.89 ㎡　１棟
	RC 造　119.97 ㎡　１棟
	除鉄・除マンガン　7,200 ㎥/日（圧力密閉型）　１式（３台）
	濾過装置　5,000 ㎥/日（圧力密閉型）　１式（２台）
	7,800 ㎥/日（圧力密閉型）　１式（３台）
	原水槽　5.5m×6.2m×3m　１槽
	5.5m×7.2m×3m　１槽
	逆洗水槽　5.5m×3.5m×3m　１槽
	5.5m×3.5m×3m　１槽
	濾過ポンプ　1.7 ㎥/min×25.0×15.0kw　３台
	1.95 ㎥/min×28.0×15.0kw　３台
	逆洗ポンプ　5.0 ㎥/min×15.0×18.5kw　２台
	4.25 ㎥/min×15.0×15.0kw　２台
	排水池　7.4m×7.4m×1.5m　５池

（紫外線照射設備）	UV 照射設備　最大 20,000 ㎥/日　２台
（送水ポンプ）	直江配水池送水ポンプ
	両吸込渦巻ポンプ
	Q＝3.43 ㎥/分　H＝74.0m　P＝75kw　４台
	送水ポンプ棟
	RC 造２階建　18.0×10.0(180.0 ㎡)　１棟
	出西配水池送水ポンプ
	両吸込渦巻ポンプ
	Q＝3.61 ㎥/分　H＝60.0m　P＝75kw　２台
	送水ポンプ室
	鉄骨平屋建　18.0×　10.0(180.0 ㎡)　１棟
（自家用発電設備）	460 HPディーゼル
荻田送水ポンプ場	送水ポンプ室　鉄骨平屋建　284.0 ㎡　１棟
	渦巻ポンプ
	Q＝3.47 ㎥/分　H＝42.5m　P＝37kw　３台
	自家用発電設備　180 HPディーゼル
第４配水池（出西）	ＰＣ造　内径 22.60m
	有効貯水量　2,000 ㎥
	満水位標高　70.50m
	有効水深　5.50m
	低水位標高　65.00m
第８配水池（直江）	ＰＣ造　内径 36.00m
	有効貯水量　10,000 ㎥
	満水位標高　73.00m
	有効水深　10.00m
	低水位標高　63.00m
第７配水池（佐々布荻田）	ＰＣ造　内径 36.00m
	有効貯水量　10,000 ㎥
	満水位標高　73.10m
	有効水深　10.10m
	低水位標高　63.00m
下倉配水池（白石）	SUS 製　２池　6.0m×5.0 m
	有効貯水量　45 ㎥
	満水位標高　67.91 m

	有 効 水 深　　1.50 m
	低水位標高　　66.41 m
畑　配　水　池	RC 造
(佐々布)	有効貯水量　　34 ㎥
	満水位標高　　163.70m
	有 効 水 深　　2.50m
	低水位標高　　161.20m
南企業団地配水池	ＦＲＰ製
(佐々布)	有効貯水量　　40 ㎥
	満水位標高　　132.20m
	有 効 水 深　　1.80m
	低水位標高　　130.40m
金山配水池	RC 造　２池
(白石)	有効貯水量　　90.60 ㎥
	満水位標高　　176.45m
	有 効 水 深　　2.40m
	低水位標高　　174.05m
新大野原配水池	PC 造　　内径 11.60m
(西来待)	有効貯水量　　400 ㎥
	満水位標高　　112.20m
	有 効 水 深　　4.00m
	低水位標高　　108.20m
田根配水池	RC 造　２池
(上来待)	有効貯水量　　98 ㎥
	満水位標高　　152.50m
	有 効 水 深　　2.50m
	低水位標高　　150.00m
和名佐配水池	RC 造　２池
(上来待)	有効貯水量　　75 ㎥
	満水位標高　　229.00m
	有 効 水 深　　2.00m
	低水位標高　　227.00m
和名佐浄水場	管理棟　ＣＢ造　建築面積 22.12 ㎡　延面積 22.12 ㎡

（1号取水井）	深井戸　１井　内径 0.10m×　深さ　92.0m　　ＶＰ製丸穴スクリーン
（取水ポンプ）	深井戸用水中ポンプ　１台　Ｑ＝0.042 ㎥/分 ＊19.0m＊0.45kw
（2号取水井）	深井戸　１井　内径 0.15m×　深さ 200.0m　　SUS 製スリット加工
（取水ポンプ）	深井戸用水中ポンプ　１台　Ｑ＝0.020 ㎥/分 ＊12.5m *0.75kw
（3号取水井）	深井戸　１井　内径 0.10m×　深さ 192.0m　　VP 製スリット加工
（取水ポンプ）	深井戸用水中ポンプ　１台　Ｑ＝0.020 ㎥/分 ＊12.5m＊0.75kw
（着水・酸化池）	RC 造　　有効容量　1.33 ㎥　1.20m(B)*4.20m(W)*2.0m(H)　有効水深 0.85m
（曝　気　塔）	処理能力　60.0 ㎥/日
（前塩素注入設備）	容量 50Ｌ＊１槽　注入ポンプ 15ｗ ＊２台(交互)
（除鉄・除マン設備）	処理能力　60.0 ㎥/日　φ600*2.70m(H)
	ろ過ポンプ　２台（予備１台）　Ｑ＝0.042 ㎥/分 ＊23.0m＊0.75kw
（浄　水　地）	RC 造　　有効容量　4.20 ㎥　1.0m(B)*2.0m(W)*2.0m(H)　有効水深 1.05m
（送水ポンプ）	水中ポンプ　２台（予備１台） Ｑ＝0.0385 ㎥/分 ＊36.0m＊1.5kw
（逆洗ポンプ）	水中ポンプ　１台 Ｑ＝0.20 ㎥/分 ＊20.50m＊1.5kw
大黒山麓浄水場	管理棟　ＣＢ造　建築面積（延面積）10.54 ㎡
（浄水池、低所配水池）	ＲＣ造　2.0m(B)*2.0m(W)*2.5m*２槽 有効貯水量　16 ㎥ 満水位標高　　179.50m 有効水深　　2.00m 低水位標高　　177.50m
（送水ポンプ）	水中ポンプ　２台（予備１台）Ｑ＝0.05 ㎥/分 ＊20.0m＊1.5kw
大黒山麓高所配水池	ＲＣ造２池 有効貯水量　24 ㎥ 満水位標高　　212.00m 有効水深　　2.00m 低水位標高　　210.00m
阿宮浄水場	管理室　ＣＢ造　建築面積 34.9 ㎡ 取水井　浅井戸１井　スクリーン　内径 0.4m×深さ 30.0m 取水ポンプ　水中ポンプ２台　Ｑ＝0.12 ㎥/分 *8.0m＊1.1kw 浄水池　ＲＣ造　1.5m×2.7m×1.5m　有効水量 6.07 ㎥ 送水ポンプ　水中ポンプ２台　Ｑ＝0.1 ㎥/分 *70.0m *3.7kw 自家発電設備　ディ―ゼルエンジン　定格 20ｋVA ＵＶ照射設備　最大 240 ㎥／日
阿宮配水池	RC 造

	有効水量　　115.5 ㎥ 満水位標高　　88.0m 有効水深　　3.0m 低水位標高　　85.0m
畑谷ポンプ場	電気室　ＣＢ造　建築面積　3.98 ㎡ 受水槽　ＲＣ造　1.5m×1.5m×1.0m　有効水量 2.25 ㎥ 送水ポンプ　水中ポンプ 2 台　Ｑ＝0.265 ㎥/分 *65.0m *5.5kw
畑谷調整池	RC 造 有効水量　　2.53 ㎥ 満水位標高　　141.3m 有効水深　　1.3m 低水位標高　　140.0m
宮尾ポンプ場	電気室　ＣＢ造　建築面積　3.98 ㎡ 受水槽　ＲＣ造　1.5m×1.5m×1.0m　有効水量 2.25 ㎥ 送水ポンプ　水中ポンプ 2 台Ｑ＝0.06-0.265 ㎥/分*35.0-23.0m *2.2kw
高野ポンプ場	電気室　ＣＢ造　建築面積　3.98 ㎡ 受水槽　ＲＣ造　1.5m×1.5m×1.0m　有効水量 2.25 ㎥ 送水ポンプ　水中ポンプ 2 台　Ｑ＝0.078 ㎥/分 *113.0m *5.5kw
高野配水池	RC 造 有効水量　　2.34 ㎥ 満水位標高　　160.2m 有効水深　　1.2m 低水位標高　　159.0m
高野第 1 調整池	RC 造 有効水量　　1.08 ㎥ 満水位標高　　116.5m 有効水深　　0.6m 低水位標高　　115.9m
畑ポンプ場	ＲＣ造　　受水槽（浄水池）２池　容量 4.32 ㎥ 送水ポンプ　水中ポンプ　２台（予備 1 台）
佐々布旭ポンプ場	ＲＣ造　　受水槽　　１池　容量 40.25 ㎥ 送水ポンプ　陸上ポンプ　２台（予備 1 台） Ｑ＝0.08 ㎥/分 ＊75.0m＊5.5kw

金山ポンプ場	ＲＣ造　　受水槽　　１池　容量 3.38 ㎥ 送水ポンプ　陸上ポンプ　２台（予備１台） Ｑ＝0.04 ㎥/分 ＊83.0m＊2.2kw
来待大森ポンプ場	ＦＲＰ製　受水槽　　２池　容量 18.00 ㎥ 送水ポンプ　陸上ポンプ　２台（予備１台） Ｑ＝0.35 ㎥/分 ＊103.0m＊15.0kw
田根ポンプ場	ＲＣ造　　受水槽（浄水地）　１池　容量 25.80 ㎥ 送水ポンプ　陸上ポンプ　２台（予備１台） Ｑ＝0.08 ㎥/分 ＊90.0m＊5.5kw
久戸ポンプ場	受水槽 加圧ポンプ（ポンプ） Ｄ＝40 ㎜　Ｑ＝0.29 ㎥/分　Ｈ＝42ｍ　Ｐ＝2.2kw　２台
神庭谷ポンプ場	受水槽 加圧ポンプ Ｄ＝40 ㎜　Ｑ＝0.14 ㎥/分　Ｈ＝51ｍ　Ｐ＝2.2kw　２台
岡の目ポンプ場	受水槽 ウォーターエース　　2.30 ㎥ 加圧ポンプ（水中ポンプ） Ｄ＝50 ㎜　Ｑ＝0.45 ㎥/分　Ｈ＝55.0ｍ　Ｐ＝7.5kw　２台
下倉ポンプ場	ＲＣ造　　受水槽　Ｑ＝7.24 ㎥ 送水ポンプ　　0.098 ㎥/分×71ｍ×3.7kw×1 台
大黒山麓 第１中継ポンプ場	ＳＵＳ製受水槽　　２槽　　容量 3.0 ㎥ 送水ポンプ　陸上ポンプ　２台（予備１台） Ｑ＝0.06 ㎥/分＊80ｍ＊5.5kw
第２中継ポンプ場	ＳＵＳ製受水槽　　２槽　　容量 32.0 ㎥ 送水ポンプ　陸上ポンプ　２台（予備１台） Ｑ＝0.06 ㎥/分＊86ｍ＊5.5kw
防災施設	緊急遮断弁 出西配水池　　φ200mm 直江配水池　　φ250mm 荻田配水池　　φ250mm 新大野原配水池　　φ150mm

（２）配水管等の布設状況

㈠ 管種別延長

令和３年３月現在 （単位：m）

管　　種	導　水　管	送　水　管	配　水　管	給　水　管	合　　計
ダクタイル鋳鉄管	1,348	16,126	77,413	12	94,899
鋼　　管	161	160	5,246	681	6,248
石綿セメント管	0	0	0	0	0
塩化ビニール管	45	4,956	341,121	53,003	399,125
ポリエチレン管	161	6,266	23,834	106	30,367
ステンレス管	28	0	250	2	280
合　　計	1,743	27,508	447,864	53,804	530,919

※工業用水道への貸付延長含む

（イ）導水管延長

（単位：m）

年　度 口　径	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
300 ㎜未満	737	816	839	839	1,547
300～500 ㎜未満	0	0	0	0	136
500～1000 ㎜未満	65	65	60	60	60
合　　計	802	881	899	899	1,743

（ウ）送水管延長

（単位：m）

年　度 口　径	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
300 ㎜未満	11,961	12,729	12,763	12,697	12,697
300～500 ㎜未満	8,813	8,813	8,834	8,833	8,833
500～1000 ㎜未満	5,968	5,968	5,978	5,978	5,978
合　　計	26,742	27,510	27,575	27,508	27,508

※工業用水道への貸付延長含む

（エ） 配水管延長

（単位：m）

年度 / 口径	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
５０㎜以下	140,287	146,661	146,888	147,012	147,362
７５㎜	89,249	95,390	96,032	95,471	95,253
１００㎜	97,276	99,707	99,943	100,762	101,394
１２５㎜	0	0	0	0	0
１５０㎜	46,995	52,247	52,374	52,147	52,188
２００㎜	8,721	8,524	8,282	8,282	8,283
２５０㎜	13,504	13,570	13,504	13,502	13,504
３００㎜	15,236	15,236	15,235	15,235	15,232
３５０㎜	2,054	2,054	2,054	2,054	2,054
４００㎜	3,944	3,944	3,955	3,955	3,955
４５０㎜	2,489	2,632	2,489	2,489	2,489
５００㎜	3,058	3,058	3,058	3,058	3,059
６００㎜	3,090	3,090	3,091	3,091	3,091
合計	425,903	446,113	446,905	447,058	447,864

（オ）給水管延長

（単位：m）

年度 / 口径	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
５０㎜以下	52,794	53,280	53,236	53,193	53,231
７５㎜	560	560	561	561	561
１００㎜	12	12	12	12	12
１５０㎜	0	0	0	0	0
２００㎜	0	0	0	0	0
合計	53,366	53,852	53,809	53,766	53,804

（３）消火栓設置数

（単位：基）

年度 / 型式	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
地上式	0	0	0	0	0
地下式	833	872	870	871	871
合計	833	872	870	871	871

Ⅱ　業　務　概　要

Ⅱ　業務概要

1．配水量･有収水量の動き

(1) 年度別配水量･有収水量の推移

単位：㎥

年　度	配水量	有収水量	有収率(%)	備　考
平成23年度	4,429,002	3,988,863	90.1	
平成24年度	4,403,010	3,981,457	90.4	
平成25年度	4,467,996	3,985,395	89.2	
平成26年度	4,358,594	3,922,879	90.0	
平成27年度	4,415,344	3,932,184	89.1	
平成28年度	4,408,725	3,950,713	89.6	
平成29年度	4,578,690	4,076,902	89.0	
平成30年度	4,575,204	4,070,165	89.0	
令和元年度	4,632,174	4,090,193	88.3	
令和２年度	4,649,314	4,168,912	89.7	

(2) 令和２年度　月別配水量･有収水量の推移

単位：㎥

月	配水量	日最大配水量		有収水量	有収率(%)	備　考
4	382,987	25日	13,142	－	－	有収水量は隔月検針による
5	392,033	14日	13,110	687,284	88.7	
6	377,291	9日	13,243	－	－	
7	377,789	8日	12,341	675,044	89.4	
8	397,501	19日	13,032	－	－	
9	376,923	3日	13,297	698,192	90.2	
10	393,448	20日	12,987	－	－	
11	378,256	10日	12,861	692,418	89.7	
12	403,089	25日	13,666	－	－	
1	418,472	11日	15,978	729,798	88.8	
2	360,589	18日	13,217	－	－	
3	390,936	3日	12,910	686,176	91.3	
計	4,649,314	1月11日	15,978	4,168,912	89.7	

(3) 令和２年度　年間配水量の内訳

単位：㎥

<table>
<tr><td rowspan="3">配水量（100%）
4,649,314</td><td rowspan="2">有効水量（91.6%）
4,256,912</td><td>有収水量（89.7%）
4,168,912</td><td>料金水量</td></tr>
<tr><td>無収水量（1.9%）
88,000</td><td>メーター不感水量
企業団事業用水量･その他</td></tr>
<tr><td colspan="2">無効水量（8.4%）
392,402</td><td>漏水量・その他</td></tr>
</table>

２.用途別有収水量と給水収益

料金（税抜）

年度＼用途		一般用	営業用	その他	分水	合計
平成23年	数量（㎥）	2,856,597	773,931	252,020	106,315	3,988,863
	料金（円）	374,991,146	138,968,467	41,302,264	12,786,273	568,048,150
平成24年	数量（㎥）	2,892,725	783,325	268,688	36,719	3,981,457
	料金（円）	379,648,880	140,697,892	44,165,916	4,636,296	569,148,984
平成25年	数量（㎥）	2,884,950	803,535	263,205	33,705	3,985,395
	料金（円）	378,948,464	144,387,070	43,206,413	4,246,830	570,788,777
平成26年	数量（㎥）	2,838,534	795,194	255,696	33,455	3,922,879
	料金（円）	372,758,901	142,908,663	42,561,486	4,215,330	562,444,380
平成27年	数量（㎥）	2,879,102	767,822	252,875	32,385	3,932,184
	料金（円）	377,964,060	137,922,464	41,543,360	4,120,074	561,549,958
平成28年	数量（㎥）	2,864,419	794,198	259,833	32,263	3,950,713
	料金（円）	376,878,721	142,561,125	42,314,587	4,065,138	565,819,571
平成29年	数量（㎥）	2,983,320	835,946	257,636	0	4,076,902
	料金（円）	392,206,285	150,134,552	42,279,961	0	584,620,798
平成30年	数量（㎥）	2,964,931	855,650	249,584	0	4,070,165
	料金（円）	390,266,322	154,048,699	40,966,069	0	585,281,090
令和元年	数量（㎥）	3,001,139	839,319	249,735	0	4,090,193
	料金（円）	396,517,406	151,173,923	40,738,453	0	588,429,782
令和２年	数量（㎥）	3,140,603	793,197	235,112	0	4,168,912
	料金（円）	415,133,248	143,134,344	39,260,894	0	597,528,486

３．給水装置工事申請件数

	新 設	改 造	修 繕	撤 去	臨 時	計
平成30年度	229	209	0	5	1	444
令和元年度	153	224	0	4	1	382
令和２年度	191	186	0	6	3	386

４．量水器取替及び小修理工事件数

	量水器取替	量水器等修理、移転	給水管破損、移転	配水管破損、移転	その他工事	業者破損	計
平成30年度	0	32	43	41	11	7	134
令和元年度	1	24	40	46	14	10	135
令和２年度	0	29	61	45	7	13	155

５．薬品･主要施設電力使用状況

年　度	次亜塩素酸ソーダ g	出西水源地 kwh	荻田ポンプ場 kwh	電力合計 kwh
平成 10 年	3,209,471	2,524,800	447,150	2,971,950
平成 11 年	3,436,988	2,525,800	429,560	2,955,360
平成 12 年	3,230,550	2,542,500	433,680	2,976,180
平成 13 年	3,290,548	2,462,400	423,410	2,885,810
平成 14 年	3,638,086	2,502,900	423,760	2,926,660
平成 15 年	3,884,873	2,506,200	431,810	2,938,010
平成 16 年	3,638,056	2,468,400	436,864	2,905,264
平成 17 年	3,354,340	2,529,000	445,330	2,974,330
平成 18 年	2,550,000	2,507,274	432,806	2,940,080
平成 19 年	2,300,000	2,591,688	432,830	3,024,518
平成 20 年	2,700,000	2,450,850	426,884	2,877,734
平成 21 年	1,600,000 10,190,000	2,426,628	421,847	2,848,475
平成 22 年	25,880,000	2,533,056	390,686	2,923,742
平成 23 年	25,030,000	2,030,760	213,658	2,244,418
平成 24 年	24,230,000	1,999,512	211,116	2,210,628
平成 25 年	25,470,000	2,085,800	206,200	2,292,000
平成 26 年	23,960,000	2,035,128	211,499	2,246,627
平成 27 年	24,830,000	2,070,672	214,809	2,285,481
平成 28 年	23,260,000	2,070,936	207,380	2,278,316
平成 29 年	25,560,000	2,139,936	200,286	2,340,222
平成 30 年	27,170,000	2,168,976	201,189	2,370,165
令和元年	33,100,000	2,164,968	200,695	2,365,663
令和２年	30,420,000	2,365,512	197,386	2,562,898

■平成２１年度までは塩素を使用。

６． 検針･収納関係

（1） メーター設置数及び用途別検針件数

◆メーター設置数

口径 年度	13 ㎜	20 ㎜	25 ㎜	30 ㎜	40 ㎜	50 ㎜	75 ㎜	100 ㎜	150 ㎜	合　計
平成 30 年	13,373	2,187	236	1	105	39	28	2	3	15,974
令和元年	13,793	2,311	237	1	106	40	28	2	3	16,521
令和２年	14,211	2,443	245	1	109	41	28	2	3	17,083

◆用途別検針件数

用途 年度	一般用	営業用	官公署用	学校用	プール用	工場用	分　水	その他	合　計
平成 30 年	13,301	1,062	215	13	(8)	6	0	365	14,964
令和元年	13,862	1,071	219	13	(8)	6	0	365	15,538
令和２年	14,236	1,082	215	13	(8)	6	0	365	15,918

■検針件数は、令和３年３月 31 日現在。(プール用のうち７件は、閉栓中のため合計数に含まない)

（2） 収納形態別件数

種別 年度	調 定 件 数	口 座 振 替	利用率	現金納付他	利用率
平成 9 年	10,283	7,623	74.1	2,660	25.9
平成 10 年	10,466	7,838	74.9	2,628	25.1
平成 11 年	10,775	8,210	76.2	2,565	23.8
平成 12 年	11,076	8,422	76.0	2,654	24.0
平成 13 年	11,190	8,609	76.7	2,581	23.3
平成 14 年	11,372	8,702	76.5	2,670	23.5
平成 15 年	11,438	9,602	83.9	1,835	16.1
平成 16 年	11,613	9,935	85.6	1,678	14.4
平成 17 年	11,713	10,284	87.8	1,429	12.2
平成 18 年	11,984	10,309	86.0	1,675	14.0
平成 19 年	12,118	10,406	85.9	1,712	14.1
平成 20 年	12,168	10,497	86.3	1,671	13.7
平成 21 年	12,283	10,577	86.1	1,706	13.9
平成 22 年	12,360	10,659	86.2	1,701	13.8
平成 23 年	12,944	10,844	83.8	2,100	16.2
平成 24 年	13,215	11,480	86.9	1,735	13.1
平成 25 年	13,390	11,633	86.9	1,757	13.1
平成 26 年	13,555	11,722	86.5	1,833	13.5
平成 27 年	13,724	11,813	86.1	1,911	13.9
平成 28 年	14,024	11,867	84.6	2,157	15.4
平成 29 年	14,566	12,124	83.2	2,442	16.8
平成 30 年	14,964	12,272	82.0	2,692	18.0
令和元年	15,538	12,320	79.3	3,218	20.7
令和 2 年	15,918	12,446	78.2	3,472	21.8

（3） 水道料金の変遷

種別	用途別	S37.4～S50.3 (13年)		S50.4～S52.3 (2年)	
		基本料金	超過料金	基本料金	超過料金
専用	一般用	8㎥まで 300円	超過1㎥につき 30円	8㎥まで 300円	超過30㎥まで 40円 31㎥以上 50円
専用	営業用	10㎥まで 380円	超過1㎥につき 30円	10㎥まで 380円	超過30㎥まで 40円 31㎥以上 50円
専用	官公署用	10㎥まで 380円	超過1㎥につき 30円	10㎥まで 380円	超過30㎥まで 40円 31㎥以上 50円
専用	学校用	50㎥まで 1,900円	超過1㎥につき 20円	50㎥まで 1,900円	超過1㎥につき 40円
専用	工場用	500㎥まで 19,000円	超過1㎥につき 30円	500㎥まで 19,000円	超過1㎥につき 50円
専用	プール用	1㎥につき 30円		1㎥につき 30円	
専用	臨時用	1㎥につき 50円		1㎥につき 50円	
専用	集会所,墓地用及び児童公園等	―		―	
分水	玉湯町	1㎥につき（S41･10･20から） 37.50円		1㎥につき 37.50円	
分水	平田市島村簡易水道	1㎥につき（S42･8･24から） 37.50円		1㎥につき 37.50円	
分水	宍道町菅原地区簡易水道	―		―	
分水	宍道町佐々布旭･畑地区簡易水道	―		―	

S52.4～S55.3　(3年)		S55.4～S57.3　(2年)		S57.4～H12.3　(17年)	
基本料金	超過料金	基本料金	超過料金	基本料金	超過料金
8㎥まで 480円	超過30㎥まで 64円 31㎥以上 80円	8㎥まで 620円	超過30㎥まで 83円 31㎥以上 104円	8㎥まで 780円	超過30㎥まで 105円 31㎥以上 130円
10㎥まで 610円	超過30㎥まで 64円 31㎥以上 80円	10㎥まで 790円	超過30㎥まで 83円 31㎥以上 104円	10㎥まで 1,000円	超過1㎥につき 150円
10㎥まで 610円	超過30㎥まで 64円 31㎥以上 80円	10㎥まで 790円	超過30㎥まで 83円 31㎥以上 104円	10㎥まで 1,000円	超過1㎥につき 130円
50㎥まで 3,000円	超過1㎥につき 64円	50㎥まで 3,900円	超過1㎥につき 83円	50㎥まで 5,000円	超過1㎥につき 130円
500㎥まで 30,000円	超過1㎥につき 80円	500㎥まで 39,000円	超過1㎥につき 104円	500㎥まで 50,000円	超過1㎥につき 150円
1㎥につき 50円		1㎥につき 65円		1㎥につき 85円	
1㎥につき 150円		1㎥につき 200円		1㎥につき 400円	
―		―		1㎥につき 400円	超過1㎥につき 130円
1㎥につき（S53・4・1から） 49円		1㎥につき（S56・4・1から） 64円		1㎥につき 81円	
1㎥につき（S52・4・1から） 60円		1㎥につき（S56・4・1から） 80円		1㎥につき 105円	
―		―		1㎥につき（H7・4・11から） 97円	
―		―		1㎥につき（H7・9・5から） 97円	

＊　平成元年4月1日から消費税3%を加算

＊　平成9年4月1日から消費税及び地方消費税5％を加算

H12.4～H26.3　(14 年)		H26.4～R1.9　(5 年)		R1.10～	
基 本 料 金	超 過 料 金	基本料金	超 過 料 金	基本料金	超 過 料 金
8㎥まで 987 円	9㎥以上30㎥まで 132.30 円 31㎥以上 164.85 円	8㎥まで 1,015.2 円	9㎥以上30㎥まで 136.08 円 31㎥以上 169.56 円	8㎥まで 1,034 円	9㎥以上30㎥まで 138.6 円 31㎥以上 172.7 円
10 ㎥まで 1,270.5 円	超過 1 ㎥につき 190.05 円	10 ㎥まで 1,306.8 円	超過 1 ㎥につき 195.48 円	10 ㎥まで 1,331 円	超過 1 ㎥につき 199.1 円
10 ㎥まで 1,270.5 円	超過 1 ㎥につき 164.85 円	10 ㎥まで 1,306.8 円	超過 1 ㎥につき 169.56 円	10 ㎥まで 1,331 円	超過 1 ㎥につき 172.7 円
50 ㎥まで 6,342 円	超過 1 ㎥につき 164.85 円	50 ㎥まで 6,523.2 円	超過 1 ㎥につき 169.56 円	50 ㎥まで 6,644 円	超過 1 ㎥につき 172.7 円
500 ㎥まで 63,420 円	超過 1 ㎥につき 190.05 円	500 ㎥まで 65,232 円	超過 1 ㎥につき 195.48 円	500 ㎥まで 66,440 円	超過 1 ㎥につき 199.1 円
1 ㎥につき 107.10 円		1 ㎥につき 110.16 円		1 ㎥につき 112.2 円	
1 ㎥につき 507.15 円		1 ㎥につき 521.64 円		1 ㎥につき 531.3 円	
4 ㎥まで 504 円	超過 1 ㎥につき 164.85 円	4 ㎥まで 518.40 円	超過 1 ㎥につき 169.56 円	4 ㎥まで 528 円	超過 1 ㎥につき 172.7 円
1 ㎥につき 101.85 円					
1 ㎥につき 132.30 円		1 ㎥につき 136.08 円			
1 ㎥につき 122.85 円					
1 ㎥につき 122.85 円					

■平成 17 年 3 月 31 日から税込表示

■平成 26 年 4 月 1 日から消費税及び地方消費税 5%から 8%に変更

■令和元年 10 月 1 日から消費税及び地方消費税 8%から 10%に変更

（4） 加入金等の変遷

加入金の変遷

（単位　円）

口径	S46.4	S51.4	S52.4	S53.4	S54.4	S55.4	S56.4	S57.4	S60.4	H26.4	R1.10 ～
13 ㎜	18,000	26,000	28,000	30,000	32,000	42,000	45,000	58,000	58,000	62,640	63,800
20 ㎜	35,000	51,000	56,000	60,000	64,000	83,000	90,000	117,000	119,000	128,520	130,900
25 ㎜	65,000	93,000	101,000	108,000	118,000	153,000	165,000	214,000	208,000	224,640	228,800
40 ㎜	200,000	280,000	311,000	333,000	352,000	458,000	495,000	643,000	674,000	727,920	741,400
50 ㎜	350,000	500,000	546,000	585,000	640,000	820,000	899,000	1,168,000	1,177,000	1,271,160	1,294,700
75 ㎜	1,000,000	1,400,000	1,554,000	1,665,000	1,728,000	2,246,000	2,426,000	3,153,000	3,013,000	3,254,040	3,314,300
100 ㎜	1,800,000	2,600,000	2,800,000	3,000,000	3,424,000	4,451,000	4,807,000	6,249,000	5,711,000	6,167,880	6,282,100
150 ㎜	－	－	－	－	－	－	－	－	14,426,000	15,580,080	15,868,600

＊ H元.4 から消費税 3%を加算

＊ H 9.4 から消費税及び地方消費税５％を加算

＊ H15.4 から名称変更（加入負担金から加入金に）

＊ H17.3.31 から税込表示

＊ H26.4 から消費税及び地方消費税８％を加算

＊ R1.10 から消費税及び地方消費税 10%を加算

出西水源地新ポンプ棟電気室

７．業務の状況

項目＼年度		説明	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
行政区域内人口(A)	人	年度末の行政区域内人口	37,564	37,548	37,633	37,527
計画給水人口 (B)	人	認可事業計画の給水人口	37,500	37,500	37,500	37,500
給水区域内人口(C)	人	年度末の給水区域内人口	36,987	37,000	37,094	37,021
給水人口(D)	人	(C)−(給水区域内未給水世帯数)	36,873	36,888	36,983	36,921
普及率 行政区域内普及率	%		98.2	98.2	98.3	98.4
普及率 給水区域内普及率	%		99.7	99.7	99.7	99.7
給水件数	戸	年度末の給水件数	13,390	13,555	13,724	14,024
年間配水量(E)	m^3	配水池から送出した年間水量	4,467,996	4,358,594	4,415,344	4,408,725
1日平均配水量	m^3	(E)/(年間日数)	12,241	11,941	12,064	12,079
1日最大配水量（F）	m^3	1日配水量実績の最大値	15,868	12,851	18,120	13,340
1人1日平均配水量	L	(E)/(D)×(年間日数)	329	321	324	325
1人1日最大配水量	L	(F)/(D)	428	346	346	359
年間給水量 (G)（年間有収水量）	m^3	水道料金収入の対象年間給水量	3,985,395	3,922,879	3,932,184	3,950,713
有収率	%	(G)/(E)	89.2	90.0	89.1	89.6
1日平均有収水量	m^3	(G)/(年間日数)	10,919	10,748	10,743	10,824
1人1日平均使用量	L	(一般用有収水量)/(D)×(年間日数)	214	211	213	213
職員数	人	企業団職員数	12	12	12	12

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度			備　　考
			全　　体	斐川町・島村町	宍道町	
38,079	38,390	38,433	38,818	30,325	8,493	
38,000	38,000	38,000	39,000	－	－	
38,041	38,352	38,390	38,787	30,325	8,462	
37,908	38,228	38,319	38,718	30,257	8,461	
99.6	99.6	99.7	99.7	99.8	99.6	
99.7	99.7	99.8	99.8	99.8	99.9	
14,566	14,964	15,538	15,918	12,500	3,418	
4,578,690	4,575,204	4,632,174	4,649,314	－	－	
12,544	12,535	12,656	12,738	－	－	
18,007	13,700	13,270	15,978	－	－	
331	328	330	329	－	－	
475	358	346	413	－	－	
4,076,902	4,070,165	4,090,193	4,168,912	－	－	
89.0	89.0	88.3	89.7	－	－	
11,169	11,151	11,175	11,422	－	－	
215	212	214	222	－	－	
12	12	12	12	－	－	

８．水質検査結果

（１）浄水

（令和2年8月19日採水）

分　析　項　目	基　準　値	出西水源地 送水本管	直江配水池系 末端給水栓①
一般細菌	100個/mℓ以下	0	0
大腸菌	検出されないこと	陰性	陰性
カドミウム及びその化合物	0.003mg/ℓ以下	0.0003　未満	0.0003　未満
水銀及びその化合物	0.0005mg/ℓ以下	0.00005　未満	0.00005　未満
セレン及びその化合物	0.01mg/ℓ以下	0.001　未満	0.001　未満
鉛及びその化合物	0.01mg/ℓ以下	0.001　未満	0.001　未満
ヒ素及びその化合物	0.01mg/ℓ以下	0.001　未満	0.001　未満
六価クロム化合物	0.02mg/ℓ以下	0.001　未満	0.001　未満
亜硝酸態窒素	0.04mg/ℓ以下	0.004　未満	0.004　未満
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/ℓ以下	0.001　未満	0.001　未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/ℓ以下	0.35	0.35
フッ素及びその化合物	0.8mg/ℓ以下	0.08　未満	0.08　未満
ホウ素及びその化合物	1.0mg/ℓ以下	0.10　未満	0.10　未満
四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下	0.0002　未満	0.0002　未満
1，4－ジオキサン	0.05mg/ℓ以下	0.005　未満	0.005　未満
シス－1.2－ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下	0.004　未満	0.004　未満
ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下	0.002　未満	0.002　未満
テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下	0.001　未満	0.001　未満
トリクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下	0.001　未満	0.001　未満
ベンゼン	0.01mg/ℓ以下	0.001　未満	0.001　未満
塩素酸	0.6mg/ℓ以下	0.07	0.06
クロロ酢酸	0.02mg/ℓ以下	0.002　未満	0.002　未満
クロロホルム	0.06mg/ℓ以下	0.001　未満	0.001　未満
ジクロロ酢酸	0.03mg/ℓ以下	0.002　未満	0.002　未満
ジブロモクロロメタン	0.1mg/ℓ以下	0.001　未満	0.005
臭素酸	0.01mg/ℓ以下	0.001　未満	0.001　未満
総トリハロメタン	0.1mg/ℓ以下	0.001　未満	0.009
トリクロロ酢酸	0.03mg/ℓ以下	0.002　未満	0.002　未満
ブロモジクロロメタン	0.03mg/ℓ以下	0.001　未満	0.002
ブロモホルム	0.09mg/ℓ以下	0.001　未満	0.002
ホルムアルデヒド	0.08mg/ℓ以下	0.008　未満	0.008　未満
亜鉛及びその化合物	1.0mg/ℓ以下	0.010	0.005　未満
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/ℓ以下	0.02　未満	0.02　未満
鉄及びその化合物	0.3mg/ℓ以下	0.03　未満	0.03　未満
銅及びその化合物	1.0mg/ℓ以下	0.010	0.012
ナトリウム及びその化合物	200mg/ℓ以下	10.9	10.4
マンガン及びその化合物	0.05mg/ℓ以下	0.005　未満	0.005　未満
塩化物イオン	200mg/ℓ以下	9.6	9.5
カルシウム、マグネシウム等　(硬度)	300mg/ℓ以下	22.8	22.8
蒸発残留物	500mg/ℓ以下	67	69
陰イオン界面活性剤	0.2mg/ℓ以下	0.02　未満	0.02　未満
ジェオスミン	0.00001mg/ℓ以下	0.000001　未満	0.000001　未満
2－メチルイソボルネオール	0.00001mg/ℓ以下	0.000001　未満	0.000001　未満
非イオン界面活性剤	0.02mg/ℓ以下	0.002　未満	0.002　未満
フェノール類	0.005mg/ℓ以下	0.0005　未満	0.0005　未満
有機物等(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/ℓ以下	0.3　未満	0.3　未満
pH値	5.8以上8.6以下	6.8	6.8
味	異常でないこと	異常なし	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし
色度	5度以下	0.5　未満	0.5　未満
濁度	2度以下	0.1　未満	0.1　未満
残留塩素(参考値)		0.49	0.32
導電率		111	112

（２）原水　　（令和2年6月17日採水）

分　析　項　目	No. 1取水井	No. 2取水井	No. 3取水井	No. 4取水井	No. 5取水井	No. 6取水井
一般細菌	0	0	0	0	0	15
大腸菌	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
カドミウム及びその化合物	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
水銀及びその化合物	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
セレン及びその化合物	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
鉛及びその化合物	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ヒ素及びその化合物	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
六価クロム化合物	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
亜硝酸態窒素	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.45	0.35	0.29	0.26	0.37	0.17
フッ素及びその化合物	0.08 未満	0.08 未満	0.08 未満	0.08 未満	0.08 未満	0.08 未満
ほう素及びその化合物	0.10 未満	0.10 未満	0.10 未満	0.10 未満	0.10 未満	0.10 未満
四塩化炭素	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
1，4－ジオキサン	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
シス－1.2－ジクロロエチレン	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
ジクロロメタン	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
テトラクロロエチレン	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
トリクロロエチレン	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ベンゼン	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
亜鉛及びその化合物	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.006
アルミニウム及びその化合物	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
鉄及びその化合物	0.07	0.03 未満	0.87	0.04	0.06	0.12
銅及びその化合物	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
ナトリウム及びその化合物	8.7	9.5	9.9	9.8	9.0	9.6
マンガン及びその化合物	0.008	0.013	0.190	0.011	0.005 未満	0.035
塩化物イオン	11.3	10.8	10.8	10.8	11.1	10.7
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	24.2	23.6	25.7	23.3	21.7	21.1
蒸発残留物	69	66	74	70	81	76
陰イオン界面活性剤	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
ジェオスミン	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
2－メチルイソボルネオール	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
非イオン界面活性剤	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
フェノール	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
有機物等（マンガン酸カリウム消費量）	0.3 未満	0.3 未満	0.3	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満
pH値	6.7	6.8	6.7	6.8	6.9	6.7
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	0.7	0.5 未満	9.9	0.7	0.9	1.7
濁度	0.1 未満	0.1 未満	0.5	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満
導電率	108	109	115	109	105	107
大腸菌（最確数）	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
嫌気性芽胞菌	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性

Ⅲ　財　務　状　況

Ⅲ　財 務 状 況

１．令和２年度　決算書

⑴収益的収入及び支出

（単位：円　消費税及び地方消費税込）

区分	予算額	決算額	（内消費税）
営業収益	716,881,000	730,661,490	66,228,442
営業外収益	94,279,000	92,644,455	468,428
特別利益	0	2,850,443	783
収入合計	811,160,000	826,156,388	66,697,653
営業費用	675,930,000	631,400,133	20,106,876
営業外費用	78,526,300	73,958,283	0
特別損失	2,038,000	1,548,828	137,952
予備費	3,620,700	0	0
支出合計	760,115,000	706,907,244	20,244,828

⑵資本的収入及び支出

（単位：円　消費税及び地方消費税込）

区分	予算額	決算額	（内消費税）
企業債	393,000,000	350,900,000	0
工事負担金	8,360,000	6,595,400	0
負担金	11,500,000	10,463,835	0
他会計負担金	40,440,000	40,440,853	0
長期貸付金返戻金	52,000,000	52,000,000	0
収入合計	505,300,000	460,400,088	0
建設改良費	506,773,000	475,218,946	39,131,594
企業債償還金	297,183,000	297,182,832	0
予備費	5,000,000	0	0
支出合計	808,956,000	772,401,778	39,131,594

２．損益計算書

（令和２年４月１日～令和３年３月 31 日）　　（単位：円・％）

借方			貸方		
科目	金額	構成比	科目	金額	構成比
営業費用	**611,293,257**	**80.5**	**営業収益**	**664,433,048**	**87.5**
原水及び浄水費	82,218,621	10.8	給水収益	597,528,486	78.7
配水及び給水費	98,281,829	12.9	その他営業収益	66,904,562	8.8
総係費	101,392,551	13.4	**営業外収益**	**92,178,745**	**12.1**
減価償却費	320,536,242	42.2	受取利息及び配当金	1,336,832	0.1
資産減耗費	8,864,014	1.2	他会計負担金	11,719,714	1.5
その他営業費用	0	－	長期前受金戻入	72,578,864	9.6
営業外費用	**66,861,983**	**8.8**	雑収益	6,543,335	0.9
支払利息及び企業債取扱諸費	66,837,387	8.8	**特別利益**	**2,849,660**	**0.4**
雑支出	24,596	0.0	過年度損益修正益	2,849,660	0.4
特別損失	**1,410,876**	**0.2**	その他特別利益	0	－
過年度損益修正損	235,330	0.0			
その他特別損失	1,175,546	0.2			
[当年度純利益]	**79,895,337**	**10.5**			
合計	**759,461,453**	**100.0**	**合計**	**759,461,453**	**100.0**

＊　表中の金額には消費税及び地方消費税は含まない。

第８配水池門扉


新大野原配水池

3．貸借対照表

（令和３年３月 31 日）　　（単位：円・％）

借方 科目	借方 金額	借方 構成比	貸方 科目	貸方 金額	貸方 構成比
固定資産	**7,741,553,342**	**87.4**	**固定負債**	**3,782,739,363**	**42.7**
有形固定資産	**7,642,438,377**	**86.3**	企業債	3,777,022,973	42.6
土地	330,355,571	3.7	引当金	5,716,390	0.1
建物	463,361,638	5.2	**流動負債**	**605,649,434**	**6.8**
構築物	5,830,824,863	65.9	企業債	303,140,077	3.4
機械及び装置	1,007,508,150	11.4	未払金	287,449,487	3.2
車両運搬具	2,244,115	0.0	引当金	6,837,079	0.1
工具器具及び備品	8,144,040	0.1	その他流動負債	8,222,791	0.1
建設仮勘定	0	0.0	**繰延収益**	**1,091,579,149**	**12.4**
投資その他資産	**99,114,965**	**1.1**	長期前受金	2,791,126,747	30.6
投資有価証券	4,965	0.0	うち収益化累計額	△1,699,547,598	△18.2
出資金	110,000	0.0	（負債合計）	5,479,967,946	61.9
長期貸付金	99,000,000	1.1	**資本金**	**2,585,724,153**	**29.2**
流動資産	**1,113,825,963**	**12.6**	自己資本金	2,585,724,153	29.2
現金預金	946,859,442	10.7	**剰余金**	**789,687,206**	**8.9**
未収金	158,263,460	1.8	**資本剰余金**	**43,431,625**	**0.5**
貸倒引当金	△1,215,958	△0.0	寄附金	61,130	0.0
貯蔵品	6,929,019	0.1	負担金	11,206,190	0.1
前払金	2,990,000	0.0	工事負担金	5,330,388	0.1
			加入金	13,691,482	0.2
			補償金	157,032	0.0
			他会計負担金	12,753,847	0.1
			補助金	231,556	0.0
			利益剰余金	**746,255,581**	**8.4**
			減債積立金	53,914,866	0.6
			未処分利益剰余金	692,340,715	7.8
			（資本合計）	3,375,411,359	38.1
資産合計	**8,855,379,305**	**100.0**	**負債資本合計**	**8,855,379,305**	**100.0**

＊　表中の金額は消費税及び地方消費税決算処理後の金額である。

４．損益計算の推移

年　　度	事業収益	事業費用	費用の		
			人件費	動力費	修繕費
平成 16 年度	783,792	732,477	112,632	37,221	7,383
平成 17 年度	809,766	719,302	95,704	37,744	6,704
平成 18 年度	786,238	724,320	81,921	39,383	11,824
平成 19 年度	741,341	667,127	79,671	40,537	11,449
平成 20 年度	695,290	640,027	78,835	43,363	11,724
平成 21 年度	665,169	576,053	72,902	39,224	19,017
平成 22 年度	677,811	595,563	66,073	41,449	8,013
平成 23 年度	627,536	623,854	63,890	36,318	48,812
平成 24 年度	631,645	669,733	76,962	37,665	41,972
平成 25 年度	639,877	666,555	68,118	40,472	47,162
平成 26 年度	712,906	670,080	64,493	42,107	32,325
平成 27 年度	716,733	678,519	68,722	40,213	43,762
平成 28 年度	744,069	673,599	68,592	37,345	45,152
平成 29 年度	747,126	685,904	69,654	42,558	56,704
平成 30 年度	750,869	667,491	60,249	46,341	64,030
令和元年度	770,361	677,281	57,950	46,122	48,657
令和２年度	759,461	679,566	62,393	44,913	52,103

（単位：千円　消費税及び地方消費税抜）

構成				給水原価	供給単価
減価償却費	支払利息	受託工事費	その他費用		
217,193	180,110	64,528	118,410	140.53	137.61
213,244	167,880	65,274	132,752	135.29	137.52
215,431	153,507	84,598	137,656	132.62	138.32
215,847	139,696	28,360	151,567	134.11	138.42
219,408	127,122	19,779	139,796	133.72	136.32
220,920	118,439	0	105,551	125.67	135.63
236,045	117,756	0	126,277	127.00	136.08
258,907	125,106	0	90,821	156.14	142.41
316,753	124,506	0	71,875	167.97	142.95
316,874	113,437	0	80,492	165.57	142.17
317,468	110,482	0	103,205	145.90	143.38
326,295	105,148	0	94,379	150.80	142.81
312,478	98,433	0	111,599	149.27	143.22
318,448	91,875	0	106,665	147.35	143.40
311,363	83,926	0	101,582	146.08	143.80
307,947	75,560	0	141,045	146.59	143.86
320,536	66,837	0	132,784	145.26	143.33

５．財務比率・経営比率

区分		算式	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和２年
1	普及率	現在給水人口 / 行政区域内現在人口	% 98.4	% 99.6	% 99.6	% 99.7	% 99.7
2	平均有収量	1日平均 有収水量 / 現在給水人口	リットル 293.2	リットル 294.7	リットル 291.7	リットル 291.6	リットル 295.0
3	有形固定資産減価償却率	有形固定資産減価償却累計額 / 償却対象資産帳簿原価	% 46.3	% 47.4	% 49.0	% 48.6	% 48.1
4	施設利用率	1日平均配水量 / 1日配水能力	% 60.1	% 61.9	% 61.8	% 62.4	% 62.8
5	有収率	年間総有収水量 / 年間総配水量	% 89.6	% 89.0	% 89.0	% 88.3	% 89.7
6	配水管使用効率	年間総配水量 / 導送配水管延長	% 9.7	% 9.7	% 9.6	% 9.7	% 9.7
7	最大稼動率	1日最大配水量 / 1日配水能力	% 66.4	% 88.8	% 67.6	% 65.4	% 78.8
8	負荷率	1日平均配水量 / 1日最大配水量	% 90.6	% 69.7	% 91.5	% 95.4	% 79.7
9	総収支比率	総収益 / 総費用	% 110.5	% 108.9	% 112.5	% 113.7	% 111.8
10	経常収支比率	営業収益＋営業外収益 / 営業費用＋営業外費用	% 110.5	% 110.1	% 112.6	% 113.0	% 111.6
11	累積欠損金比率	累積欠損金 / 営業収益―受託工事収益	% 0	% 0	% 0	% 0	% 0
12	繰入金比率(収益的収入分)	損益勘定繰入金 / 収益的収入	% 2.1	% 2.0	% 1.8	% 1.7	% 1.5
13	繰入金比率(資本的収入分)	資本勘定繰入金 / 資本的収入	% 15.2	% 19.2	% 15.2	% 6.1	% 8.8
14	職員一人当り給水人口	現在給水人口 / 損益勘定職員数	人 6,154	人 6,318	人 6,371	人 6,387	人 6,453
15	職員一人当り給水収益	給水収益 / 損益勘定職員数	千円 94,303	千円 97,437	千円 97,547	千円 98,072	千円 99,588
16	給水収益に対する割合(うち職員給与費)	職員給与費 / 給水収益	% 10.5	% 10.3	% 10.3	% 9.9	% 10.4

＊規模別全国平均は,水源別･給水人口３万人以上５万人未満の事業体の平均値をいう。

令和元年 規模別全国平均	備　　考
% 80.1	給水人口規模の大きい事業ほど都市部の占める割合が比較的高いため、普及率も高くなる。
ﾘｯﾄﾙ 301.0	都市部を抱える給水人口規模の大きい事業においては、業務用の大口使用の影響により有収水量が多くなっている。
% 47.6	資産の減価償却の割合を示す比率で、減価償却の進み具合や資産の経過年数を示す。資金の内部留保がどの程度かを示し資金計画策定上でも重要な判断材料である。
% 58.7	水道施設の利用状況を総合的に判断する指標。この数値が高いほど経済的であるが負荷率・最大稼働率と併せて施設規模をみることが大切である。
% 81.6	施設の稼動状況がそのまま収益につながっているかについて確認するための重要な指標。 有収率が高いのは老朽管更新等による漏水防止対策が進んでいるといえる。
% 11.0	施設の効率性を示す指標で、給水区域内における人口密度の影響をうける。
% 70.8	計画に対する施設利用効率を示す指標。この数値が低いと施設が遊休状態であり過大投資と言える。一方100%に近いと安定的な給水が問題となる。
% 82.9	施設の効率性を示す指標。 水道事業は季節によって需要変動のある事業であり、この数値が高いほど効率的である。
% 108.7	企業の収益性を示す指標。総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示し、これが 100%以上であれば良好な収支といえる。
% 108.8	企業の経常的な活動における収益性を示す指標。経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示し、100%以上で高いほど利益率が良い。
% 5.8	事業体の経営状況が健全な状態にあるかを把握しようとするものである。
% 8.3	収益的収入における繰入金依存度を分析するものである。
% 18.4	資本的収入における繰入金依存度を分析するものである。
人 3,382	労働生産性を分析する指標。 職員数と業務量について給水人口で比較した比率。損益勘定所属職員で令和２年度は６名である。
千円 60,807	労働生産性を分析する指標。 職員数と業務量について営業収益で比較した比率。
% 11.6	給水収益と比較した場合の職員給与費用の比率。

区分		算式	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
17	給水収益に対する割合（うち企業債利息）	企業債利息 / 給水収益	% 17.4	% 15.7	% 14.3	% 12.8	% 11.2
18	給水収益に対する割合（うち減価償却費）	減価償却費 / 給水収益	% 55.2	% 54.5	% 53.2	% 52.3	% 53.6
19	料金回収率	供給単価 / 給水原価	% 96.0	% 97.3	% 98.4	% 98.1	% 98.6
20	一ヶ月当り家庭用料金(20㎥)		円 2,647	円 2,647	円 2,647	円 2,647	円 2,647
21	流動比率	流動資産 / 流動負債	% 181.7	% 190.8	% 190.3	% 156.2	% 183.9
22	当座比率	現金・預金＋（未収金−貸倒引当金） / 流動負債	% 179.8	% 188.9	% 188.7	% 155.2	% 182.3
23	自己資本構成比率	自己資本金+剰余金+繰延収益 / 負債資本合計	% 50.4	% 51.9	% 53.0	% 49.2	% 50.4
24	固定資産対長期資本比率	固定資産 / 資本金+剰余金+固定負債+繰延収益	% 96.1	% 95.7	% 95.0	% 94.4	% 93.8
25	資本費	企業債利息＋減価償却費−長期前受金戻入 / 年間総有収水量	円 82.9	円 81.6	円 79.4	円 74.8	円 75.5
26	営業収支比率	営業収益−受託工事収益 / 営業費用−受託工事費用	% 111.4	% 111.1	% 113.5	% 111.5	% 108.7
27	自己資本回転率	営業収益−受託工事収益 / (期首自己資本金+期末自己資本金) ÷2	回 0.16	回 0.16	回 0.15	回 0.15	回 0.15
28	企業債償還元金対減価償却費比率	企業債償還元金 / 当年度減価償却費−長期前受金戻入	% 113.2	% 111.8	% 116.6	% 128.9	% 119.9
29	職員給与費対営業収益率	職員給与費 / 営業収益-受託工事収益	% 9.3	% 9.3	% 9.1	% 8.6	% 9.4
30	給水原価	経常費用−(受託工事費+材料売却原価)-長期前受金戻入 / 年間総有収水量	円 149.3	円 147.4	円 146.1	円 146.6	円 145.3
31	供給単価	給水収益 / 年間総有収水量	円 143.2	円 143.4	円 143.8	円 143.9	円 143.3

令和元年 規模別全国平均	備　　考
% 8.7	給水収益と比較した場合の企業債利息の比率。全国平均よりも上回っているのは、更新工事を行っていることによる。
% 54.8	給水収益と比較した場合の減価償却費の比率。全国平均よりも上回っているのは更新工事を行っていることによる。第2期増補改良事業完了及び簡易水道統合によりアップした。
% 95.1	供給単価と給水原価との関係をみる指標。 数値が100%以下の場合、給水にかかる費用が水道料金による収入以外の収入で賄われていることになる。
円 3,037	
% 344.8	流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表わした指標。 比率が100%を下回っていれば不良債務が発生していることになる。
% 334.2	支払義務としての流動負債に対する支払手段としての当座資金の割合であり、流動比率の補助的な比率。 流動比率との差は当座資産等の割合の差を示し、短期債務に対する直接的な支払能力を表している。
% 64.3	総資本(負債・資本)に占める自己資本(自己資本金・剰余金・繰延収益)の割合を示す比率。 建設費の大部分を企業債で調達しているが、事業経営の安定化を図るには自己資本の造成が必要である。
% 90.1	固定資産がどの程度長期の資本で調達されているかを示し、事業の固定的・安定的安全性をみる指標。
円 87.3	有収水量1㎥当りの製造原価のうち減価償却費及び企業債利息の額。
% 94.5	営業活動における収益性をみるための指標。営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示し、 数値が100%以上で高いほど利益率が良い。
回 0.11	自己資本に対する営業収益の割合であり、期間中に自己資本の何倍の営業収益があったかを示すものである。 この比率が高いほど投下資本に比して営業活動が活発であることを意味する。
% 88.4	減価償却費で企業債償還元金を賄えるかを示し、投下資本の回収と再投資との間のバランスを見る指標。 この比率が100%を超えると再投資を行うにあたって外部資金に頼らざるを得なくなり投資の健全性を失う。
% 11.6	営業収益に対する職員給与費の割合を示す指標。
円 171.4	有収水量1㎥当りの製造原価であり、費用を抑制し有収水量を増やせば低くできるが、供給単価を大きく上回ると赤字の要因となる。
円 163.0	水道事業の公益性から見ると出来るだけ低いほうが良いが、給水原価を下回ると収益性が悪化し問題である。

6．料金原価

（令和２年度）

給水原価

$$\frac{\text{経常費用—(受託工事費＋材料売却原価+長期前受金戻入)}}{\text{有収水量(㎥)}} = \frac{605,576,376}{4,168,912} = 145\text{円}26\text{銭}$$

給水原価 145円26銭	営業費用 611,293,257円 146円63銭	原水及び浄水費	82,218,621円	19円72銭
		配水及び給水費	98,281,829円	23円57銭
		総係費	101,392,551円	24円32銭
		減価償却費	320,536,242円	76円89銭
		資産減耗費	8,864,014円	2円13銭
	営業外費用 66,861,983円 16円04銭	支払利息及び企業債取扱諸費	66,837,387円	16円03銭
		雑支出	24,596円	0円01銭
	営業外収益 △72,578,864円 △17円41銭	長期前受金戻入	△72,578,864円	△17円41銭

供給単価（販売価格）

$$\frac{\text{給水収益（円）}}{\text{有収水量（㎥）}} = \frac{597,528,486}{4,168,912} = 143\text{円}33\text{銭}$$

販売原価

$$\frac{\text{経常費用（円）}}{\text{有収水量（㎥）}} = \frac{678,155,240}{4,168,912} = 162\text{円}67\text{銭}$$

＊ 税抜き金額

＊ 経常費用=営業費用＋営業外費用

Ⅳ　工業用水道事業

Ⅳ　工業用水道事業の概要

1．工業用水道事業のあゆみ

斐川町の誘致企業等に工業用水の供給を行うことを目的に、昭和 63 年 9 月 30 日付けで通商産業大臣（63 立第 1992 号・S63.12.21 受理）に工業用水道事業の届出をしました。本工業用水事業は、上水道水源地の下流部の地下水を水源とし、全体計画では口径 1,000mm のさく井を 6 本築造し、計画取水量 20,000 ㎥、計画給水量 18,600 ㎥を供給する事業です。

第１期工事は平成元年２月から着手し、計画配水量 6,500 ㎥で取水井２本、貯水池１池を築造し、平成２年６月１日から供給を開始しました。

その後、供給先への１日最大給水量の増大と、新規供給先への供給開始のため、平成 13 年度から第２期工事に着手し、第３取水井の新設による安定取水を図ると共に、新規供給先への配水管布設工事を施行し、平成 15 年６月から給水を開始しました。

老朽化した施設の更新と安定給水のため、平成 23 年度から第 3 期工事（電気機械設備工事、配水管布設工事、取水井作井工事）がスタートし、平成 25 年度に電気機械設備工事と配水管布設工事が完了し、旧上水道第 6 配水池（直江町Ｖe＝3,000 ㎥）を利用した自然流下方式での配水を開始しました。

また、供給先の新工場が稼働を開始したため、令和元年 11 月からその工場へ給水を開始しています。

２．事業の実施状況

事業名 項目	全体計画	第１期事業	第２期事業	第３期事業
届出年月日	昭和63年9月30日	－	－	―
1日最大取水量	20,000㎥	6,500㎥	9,000㎥	9,000㎥
1日最大給水量	18,600㎥	6,045㎥	8,370㎥	8,370㎥
着工年月日	平成59年12月24日	平成元年 2月 4日	平成13年 5月 9日	平成23年7月21日
竣工年月日	平成　年　月　日	平成 2年 5月31日	平成14年 3月31日	平成27年3月31日
事業費	1,144,348千円	801,502千円	170,000千円	523,777千円
	＊取水施設	＊取水施設	＊取水施設	＊送水施設
主要設備	取水井　→6井	取水井　→2井(№1、№2)	取水井　→1井(№3)	ポンプ更新　3基
	導水管 ⌀200～⌀350　578m	導水管 ⌀200～⌀250　135m	導水管⌀250～⌀350　443m	送水管φ450　49m
	＊配水施設	＊配水施設	＊配水施設	受電･制御盤更新　1式
	配水池→1池(1,000㎥)	貯水池→1池(1,000㎥)	配水管	既設第6配水池送水管利用
	配水管	配水管	⌀ 100　2,050m	
	⌀500　1,690m	⌀500　1,690m		＊配水施設
	⌀450　4,110m	⌀350　2,550m		配水池
	⌀400　640m			1池(3,000㎥)
	⌀350　2,550m			(既設第6配水池利用)
	＊水源地管理室	＊水源地管理室		配水管
	鉄骨平屋建て　425㎡	鉄骨平屋建て　425㎡		φ300～φ350　1,708m

３．令和２年度の事業概要

工業用水道事業は平成 2 年の給水開始以来、景気変動の影響を受けながら厳しい環境が続いてきましたが、平成 20 年度から基本料金制を実質的に導入し、基本料金を契約水量の 60%、70%、平成 26 年度からは 80%に段階的に引上げて給水収益の安定を図ってまいりました。なお、本年度の給水収益は新型コロナウイルスの影響により、前年度と比較して 1,053 千円の減となりました。

（財政の状況）

収益的収支（消費税及び地方消費税抜）については、事業収益 118,072 千円に対し、事業費用 82,692 千円となり当年度の損益は 35,380 千円の純利益となりました。

前年度と比較すると事業収益は、352 千円の減となっており、その主たる理由は給水収益の減によるものです。

事業費用については、6,647 千円の増となっており、その主たる理由は、修繕費や減価償却費の増加によるものです。

次に、資本的収支（消費税及び地方消費税込）については、収入が 6,231 千円（他会計負担金）となり、支出は 79,023 千円となりました。なお、資本的収支の差引不足額 72,792 千円については、消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

４．令和３年度　事業計画

(1) 業務予定量（当初予算書）

給水件数	3 件
年間総給水量	2,130,000 ㎥
１日平均給水量	5,835 ㎥

(2) 予算（当初）概要

収益的収入及び支出		
	水道事業収益	125,940 千円
	水道事業費用	83,300 千円
資本的収入及び支出		
	資本的収入	6,230 千円
	資本的支出	72,828 千円
資本的収支不足額への補てん財源		
消費税及び地方消費税資本的収支調整額		0 千円
損益勘定留保資金		66,598 千円

５．給水区域

出雲市斐川町出西、求院、神氷、上直江、直江、上庄原、三絡

６．水道料金

（令和元年 10 月１日～　　）

給水の対象　　１給水当り 100 ㎥以上

基本料金　　49.50 円/㎥（消費税込）

特定料金　　49.50 円/㎥（　〃　　）

超過料金　　55.00 円/㎥（　〃　　）

７．施設概要

現有施設

施　　設	施　　設　　概　　要
出西配水ポンプ場	
（取水井）	浅井戸　　３井
	（スクリーン　　内径 1.0m×深さ 14.77～16.54m×3 井）
（取水ポンプ）	水中ポンプ（口径 150 ㎜）
	Q＝2.78～3.126 ㎥/分　H＝21.0～23.0　P＝18.5kw　3 台
（貯水池）	ＰＣ造り　　内径 15.00m
	有効貯水量　　1,000　㎥
	満水位標高　　20.90m
	有 効 水 深　　5.70m
	低水位標高　　15.20m
（送水ポンプ）	両吸込渦巻きポンプ（吸込口径 200・吐出口径 150 ㎜）　３台
	Q＝4.0 ㎥/分　H＝61.0m　P＝75kw
（水源池管理室）	鉄骨造り平屋建て（ポンプ室･電気室含む）　床面積　425.8 ㎡
配水池	ＰＣ造り　　内径 22.00m
（旧上水道第６配水池借受）	有効貯水量　　3,000 ㎥
	満水位標高　　56.00m
	有 効 水 深　　8.00m
	低水位標高　　48.00m

配水管等の布設状況　　（単位：m）

	管　　種	平成 2 年度	平成 13 年度	平成 28 年度
導水管	ダクタイル鋳鉄管 φ200 ㎜	22	22	91
	ダクタイル鋳鉄管 φ250 ㎜	73	73	43
	ダクタイル鋳鉄管 φ350 ㎜	40	145	148
	計	135	240	282
送水管	ダクタイル鋳鉄管 φ75 ㎜	0	0	8
（上水道	ダクタイル鋳鉄管 φ200 ㎜	0	0	33
借受延長含む）	ダクタイル鋳鉄管 φ400 ㎜	0	0	36
	ダクタイル鋳鉄管 φ450 ㎜	0	0	7,280
	ダクタイル鋳鉄管 φ500 ㎜	0	0	2
	ダクタイル鋳鉄管 φ600 ㎜	0	0	7
	ﾅｲﾛﾝｺｰﾃｨﾝｸﾞ鋼管 φ600 ㎜	0	0	44
	計	0	0	7,410
配水管	ダクタイル鋳鉄管 φ100 ㎜	0	0	42
	ダクタイル鋳鉄管 φ200 ㎜	0	0	120
	ダクタイル鋳鉄管 φ250 ㎜	0	0	332
	ダクタイル鋳鉄管 φ300 ㎜	0	0	594
	ダクタイル鋳鉄管 φ350 ㎜	2,550	2,550	1,629
	ダクタイル鋳鉄管 φ400 ㎜	0	0	32
	ダクタイル鋳鉄管 φ500 ㎜	1,690	1,690	0
	ダクタイル鋳鉄管 φ600 ㎜	0	0	96
	塩化ビニール管 φ100 ㎜	0	2,050	776
	ナイロンコーティング鋼管 φ250㎜	0	0	6
	計	4,240	6,290	3,627
予備管	ダクタイル鋳鉄管 φ100 ㎜	0	0	26
	ダクタイル鋳鉄管 φ300 ㎜	0	0	10
	ダクタイル鋳鉄管 φ350 ㎜	0	0	2,561
	ダクタイル鋳鉄管 φ400 ㎜	0	0	12
	ダクタイル鋳鉄管 φ450 ㎜	0	0	35
	ダクタイル鋳鉄管 φ500 ㎜	0	0	1,672
	塩化ビニール管 φ100 ㎜	0	0	812
	ナイロンコーティング鋼管 φ150㎜	0	0	
	ナイロンコーティング鋼管 φ400㎜	0	0	27
	ナイロンコーティング鋼管 φ500㎜	0	0	20
	計	0	0	5,178
	合計	4,375	6,530	16,497

８．業務概要

	年間総配水量（㎥）	１日平均配水量（㎥）	１日最大配水量（㎥）	年間有収水量（㎥）	電力使用量（ｋｗｈ）
平成 16 年度	1,523,411	4,174	9/14 6,404	1,501,533	439,093
平成 17 年度	1,211,449	3,319	9/12 4,807	1,192,947	398,026
平成 18 年度	1,347,477	3,692	8/29 5,837	1,311,088	436,753
平成 19 年度	1,460,097	3,989	9/21 5,920	1,434,795	356,920
平成 20 年度	1,142,209	3,129	8/7 5,116	1,165,582	408,447
平成 21 年度	1,128,062	3,091	8/28 4,645	1,135,770	389,419
平成 22 年度	1,459,152	3,998	8/19 6,215	1,446,100	474,035
平成 23 年度	1,480,831	4,046	9/28 5,571	1,456,474	416,807
平成 24 年度	1,582,231	4,323	8/3 5,964	1,541,607	506,064
平成 25 年度	1,461,220	3,992	4/10 5,900	1,443,026	503,888
平成 26 年度	1,477,504	4,181	7/25 4,941	1,510,715	651,480
平成 27 年度	1,754,425	4,794	9/29 6,673	1,714,554	741,486
平成 28 年度	1,829,946	5,014	9/27 6,849	1,820,455	793,224
平成 29 年度	1,929,987	5,288	8/5 7,081	1,916,459	829,044
平成 30 年度	2,133,601	5,845	10/6 7,157	2,089,866	865,830
令和元年度	1,934,744	5,286	8/2 7,570	1,920,281	785,514
令和２年度	1,863,175	5,105	8/11 6,965	1,847,879	643,098

9.財務状況

令和２年度　決算書

(1) 収益的収入及び支出

（単位：円　消費税及び地方消費税込）

区分	予算額	決算額	（内消費税）
営業収益	107,000,000	109,505,844	9,955,074
営業外収益	20,130,000	17,757,758	0
特別利益	0	763,155	0
収入合計	127,130,000	128,026,757	9,955,074
営業費用	89,667,000	76,272,558	2,363,272
営業外費用	16,663,200	16,257,754	0
予備費	969,800	0	0
支出合計	107,300,000	92,530,312	2,363,272

資本的収入及び支出

（単位：円　消費税及び地方消費税込）

区分	予算額	決算額	（内消費税）
企業債	0	0	0
工事負担金	0	0	0
他会計負担金	6,230,000	6,230,931	0
収入合計	6,230,000	6,230,931	0
建設改良費	9,520,000	4,543,000	413,000
企業債償還金	22,480,000	22,479,576	0
長期借入金償還金	52,000,000	52,000,000	0
予備費	1,000,000	0	0
支出合計	85,000,000	79,022,576	413,000

(2) 損益計算書(令和２年４月１日～令和３年３月31日)

（単位：円・％）

借方			貸方		
科目	金額	構成比	科目	金額	構成比
営業費用	**73,909,286**	**62.6**	**営業収益**	**99,550,770**	**84.3**
原水及び浄水費	29,736,141	25.2	給水収益	99,550,770	84.3
配水及び給水費	2,875,560	2.4	その他の営業収益	0	0.0
総係費	382,578	0.3	**営業外収益**	**17,758,071**	**15.1**
減価償却費	33,215,007	28.2	受取利息及び配当金	2,542	0.0
資産減耗費	7,700,000	6.5	他会計負担金	13,769,069	11.7
営業外費用	**8,782,554**	**7.4**	長期前受金戻入	3,977,947	3.4
支払利息及び企業債取扱諸費	8,782,554	7.4	雑収益	8,513	0.0
[当年度純利益]	**35,380,156**	**30.0**	**特別利益**	**763,155**	**0.6**
合計	**118,071,996**	**100.0**	**合計**	**118,071,996**	**100.0**

＊　表中の金額には消費税及び地方消費税は含まない。

（3）貸借対照表（令和３年３月31日）

（単位：円・%）

借方			貸方		
科目	金額	構成比	科目	金額	構成比
固定資産	**643,214,728**	**72.8**	**固定負債**	**587,952,838**	**66.5**
有形固定資産	**643,214,728**	**72.8**	企業債	537,952,838	60.9
土地	29,941,411	3.4	他会計借入金	50,000,000	5.6
建物	31,499,629	3.6	**流動負債**	**87,263,223**	**9.9**
構築物	315,310,868	35.6	企業債	22,827,479	2.6
機械及び装置	233,966,634	26.5	他会計借入金	49,000,000	5.5
車両運搬具	0	－	未払金	14,661,500	1.7
工具器具及び備品	26,316	0.0	引当金	774,244	0.1
建設仮勘定	32,469,870	3.7	**繰延収益**	**7,604,921**	**0.9**
流動資産	**240,695,069**	**27.2**	長期前受金	186,216,805	21.1
現金預金	223,382,560	25.3	うち収益化累計額	△181,401,507	△20.5
未収金	17,312,509	1.9	建設仮勘定前受金	2,789,623	0.3
			（負債合計）	682,820,982	77.3
			資本金	**159,061,200**	**18.0**
			繰入資本金	159,061,200	18.0
			剰余金	**42,027,615**	**4.7**
			資本剰余金	**6,647,459**	0.7
			他会計負担金	6,647,459	0.7
			利益剰余金	**35,380,156**	4.0
			未処分利益剰余金	35,380,156	4.0
			（資本合計）	201,088,815	22.7
資産合計	**883,909,797**	**100.0**	**負債資本合計**	**883,909,797**	**100.0**

＊ 表中の金額は消費税及び地方消費税決算処理後の金額である。

工業用水道水源地

１０.損益計算の推移

（単位：千円　消費税及び地方消費税抜）

年　度	事業収益	事業費用	費　用　の　構　成					
			人件費	動力費	修繕費	減価償却費	支払利息	その他費用
平成16年度	72,895	88,525	(委託料) 3,809	5,806	276	35,040	36,109	7,485
平成17年度	58,666	81,893	(委託料) 3,809	5,458	2,422	35,101	34,196	907
平成18年度	63,990	73,570	(委託料) 3,809	5,458	2,422	35,101	34,196	907
平成19年度	69,141	72,344	(委託料) 3,809	6,814	100	30,019	29,991	1,611
平成20年度	78,910	72,430	(委託料) 3,809	6,536	1,255	30,024	27,641	3,165
平成21年度	76,586	68,814	(委託料) 3,809	5,754	2,891	30,016	25,134	1,210
平成22年度	79,452	69,437	(委託料) 3,809	6,726	5,157	30,016	22,472	1,257
平成23年度	87,041	52,383	(委託料) 3,809	7,738	780	21,880	16,918	1,258
平成24年度	82,227	50,601	9,598	8,009	9,905	18,509	3,223	1,357
平成25年度	81,463	50,668	9,505	8,377	1,084	18,509	8,761	4,432
平成26年度	113,250	75,361	9,347	11,870	1,553	37,524	12,026	3,039
平成27年度	113,675	87,826	17,969	12,579	0	36,336	11,141	9,801
平成28年度	115,650	78,749	9,375	12,471	249	35,718	10,894	10,042
平成29年度	158,444	86,310	9,645	13,861	7,089	35,009	9,775	10,931
平成30年度	116,624	80,139	10,044	15,086	558	34,657	9,703	10,091
令和元年度	118,424	76,045	9,770	13,777	1,697	31,291	8,916	10,594
令和2年度	118,072	82,692	9,274	10,531	6,685	33,125	8,783	14,294

V　機　構　と　組　織

Ⅴ　機構と組織

１．機 構 図

令和２年度末現在
※（ ）内は人数

水道企業団（１２）

企業長(出雲市長) ― 副企業長(松江市長)

― 事務局長（1） ― 事務局次長（1）（管理課長兼務）

- 管理課（４）
  - 会計係（２）
  - 収納係（２）
- 工務課（６）（課長１）
  - 配水係（３）
  - 施設係（２）

２．事務分掌

（抜粋）

＜管　理　課＞

⑴条例規則等の制定改廃及び公告式に関すること。
⑵水道議会に関すること。
⑶儀式、渉外及び表彰に関すること。
⑷情報公開に関すること。
⑸職員の給与、労務、福利厚生及び研修に関すること。
⑹会計年度任用職員に関すること。
⑺島根県市町村職員共済組合並びに総合事務組合に関すること。
⑻庁中取締り及び庁舎管理に関すること。
⑼財産の取得、処分及び管理に関すること。
⑽予算及び決算に関すること。
⑾出納員及び分任出納員に関すること。
⑿出納取扱金融機関及び収納取扱金融機関に関すること。
⒀監査に関すること。
⒁滞納処理に関すること。
⒂契約に関すること。
⒃広報、広聴に関すること。
⒄水道料金等の賦課、調定、通知、徴収に関すること。
⒅給水量の検針及び認定に関すること。
⒆給水の受付及び加入金、負担金、手数料の賦課徴収に関すること。
⒇給水装置の開栓、閉栓に関すること。
(21)計量器の受払い及び修理に関すること。
(22)貯蔵品（工事用資材を除く）の受払いに関すること。

＜工　務　課＞

⑴水道施設の建設改良の計画に関すること。
⑵水道用水の供給等に関すること。
⑶水道施設の維持管理に関すること。
⑷水道施設の調査設計及び工事施行に関すること。
⑸給水装置に関すること。
⑹計量器に関すること。
⑺水源地及び配水池の管理に関すること。
⑻配水記録の整理報告に関すること。
⑼水質保全及び水質管理に関すること。
⑽入札参加資格の認定等に関すること。
⑾指定給水装置工事業者の指定に関すること。

付　　表

付　　表

1．水道年表

年　月　日	主　　な　　出　　来　　事
昭和 34. 4.	斐川村の大部分と宍道町の一部を給水区域に水道事業を創設
	（計画給水人口 28,000 人、一日最大給水量 4,620 ㎥）
34. 9.21（1959）	島根県知事設置認可　斐川村 宍道町水道組合が発足
34.12.11	厚生大臣経営許可(事業創設認可)
35．3.　（1960）	事業着手
36. 8.11（1961）	**一部供用開始**
37. 3.31（1962）	第２（旧第 1）取水井・第５（旧第 2）取水井新設
	出西に 1,250 ㎥の第１配水池、佐々布に 50 ㎥の第２配水池完成
37. 4. 1（1962）	供用開始
39. 3.31（1964）	第１期拡張事業厚生省認可(4 月着工)
40. 3.31（1965）	白石に 50 ㎥の第３配水池完成
	宍道町西来待･小松、東来待･浜の未給水地区に配水管布設
41.10.30（1966）	玉湯町と分水契約
42. 8.24（1967）	平田市（島村地区）と分水契約
43. 4. 1（1968）	**斐川町 宍道町水道企業団に改称（地方公営企業法適用）**
45. 3.13（1970）	第２期拡張事業厚生省認可(4 月着工)
	第１・４・６取水井増設
	出西に 2,000 ㎥の第４配水池、佐々布に 1,000 ㎥の第５配水池完成
48. 3.25（1973）	第２期拡張事業完成
	第１・第３配水池を廃止
49．4．1（1974）	増補改良事業に着手
50. 4. 1（1975）	水道料金改定
51. 3.31（1976）	白石加圧ポンプ場完成
52．2.20（1977）	来待バイパス線配水管布設完成
	玉湯町分水の増量
52. 4. 1	水道料金改定
52．6.20	倉敷受水槽（1,000 ㎥）及び宍道配水ポンプ場設置
52．7．5（1977）	第 3 期拡張事業着工
	佐々布･白石･来待地区の 9 自治会を給水区域に編入した
53．1．30	水道企業団庁舎新築竣工
54.10.（1979）	第３取水井新設（第三拡事業）
	直江町に 3,000 ㎥の第 6 配水池新設（第三拡事業）
	荘原加圧ポンプ場を新設（第三拡事業）
	遠距離集中監視制御システム導入（第三拡事業）
55. 4. 1	水道料金改定

年 月 日	主　な　出　来　事
55. 6.30	第３期拡張事業竣工
57. 4. 1（1982）	水道料金改定
	２ヶ月検針･集金制度開始
59.12.24（1984）	**麦川町 宍道町 水道企業団　工業用水道事業創設、水道議会議決**
60.12.　（1985）	第７取水井新設
63. 9.30（1988）	通商産業大臣へ工業用水道事業届出
63.12.21	工業用水道事業届出受理
63.12.	第３取水井更新
平成元. 2. 2（1989）	**工業用水道事業(第１期工事)着工**
2. 4. 1（1990）	増補改良事業（第１期事業）着工
2. 5.31	工業用水道事業(第１期工事)竣工
2. 6. 1	**工業用水道給水開始**
3. 4. 1（1991）	石綿セメント管の布設替着手
3.12.	第６取水井更新（既存№5、既存№6の２本の井戸を統合して№6とし、№5の番号を廃止）
4. 4.　（1992）	第７配水池（V＝10.000 ㎥、ＧＬ＝65.0m）調査設計着手
5. 4.　（1993）	第８配水池（V＝10.000 ㎥、ＧＬ＝63.0m）調査設計着手
5.10.	第７配水池、荻田送水ポンプ場着工
6. 7.30（1994）	第７配水池、荻田送水ポンプ場完成
	荘原ポンプ場、倉敷受水槽、宍道ポンプ場、白石ポンプ場を閉鎖
	第２･第５配水池を廃止
	第４･第７配水地に緊急遮断弁を設置
7. 4.11（1995）	菅原地区簡易水道に分水開始
7. 9. 5	佐々布旭･畑地区簡易水道に分水開始
9. 3.10（1997）	第１取水井更新
10. 4. 1（1998）	濁度計（ウォーターアナライザー）導入
12. 3.31（2000）	増補改良事業（第１期事業）竣工
12. 4. 1	水道料金改定
	増補改良事業（第２期事業）着工
	設計･積算システム導入
13. 2.20（2001）	第２取水井更新
13. 4. 1	下倉配水池、久戸調整池、ポンプ場（鏡・弘長寺・久戸・湖南台・下倉・岡の目・小佐々布）の施設を宍道町から移管
13. 8.10	出西水源地記念館改修工事竣工
13. 9	工業用水道事業(第２期工事)着工
13. 9.12	工業用水道№3取水井新設（13.11. 1供用開始）
13.	工業用水新規供給先への配水管布設工事
14.3.31	工業用水道事業(第２期工事)竣工

年 月 日	主　　な　　出　　来　　事
14. 3.15(2002)	水道局駐車場増設（284.0 ㎡）
14.10	出西水源地用地購入(1,310 ㎡)
14.12.20	工水ポンプ場建屋改修工事
15. 1.18～30	平成 15 年 1 月末寒波被害
(2003)	（損失水量/8,500 ㎥・配水管破損/16 件・宅内給水装置破損/770 件）
15. 2.21	水道システム導入
15. 3.10	水道マッピングシステム導入
15. 3.25	工業用水テレメーター改修工事竣工
15 .4. 1	宍道支所業務を宍道町へ委託
15. 6. 1	**工業用水新規供給先へ供給開始**
15. 8.12	第８配水池送水管布設工事着工
16. 1.22～23	平成 16 年 1 月寒波被害
(2004)	（最低気温－4.9℃・損失水量 9,000 ㎥・配水管破損３件・宅内給水装置破損 350 件・平田市へ給水応援）
16. 3.25	水道企業団議会「合併に関する特別委員会」設置
17. 2. 1(2005)	宍道町水道料金システムを企業団に移行
17.2.3	島根県知事　斐川町宍道町水道企業団規約の変更許可
17.3.31	**宍道町の松江市との合併により、「斐川宍道水道企業団」に改称**
18.3	細砂ろ過浄水施設の実証実験施設完成(4 月実験開始)
18.8	クリプト滅菌に紫外線照射（ＵＶ）が平成１９年度より認可の見通し
18.9.	玉湯町分水契約合意（平成 20 年度より実分水量契約）
18.10.	第４取水井更新　調査業務
20.3	新第４取水井　竣工　(株)三協工業)φ1200×18m　ｽｸﾘｰﾝ長 L=8.5m
21.3	新送水ポンプ棟完成（第８配水池系）
21.9	送水ポンプ電気機械設備着工
21.10	第８配水池着工
21.11	出西水源地用地購入（950 ㎡）
21.12	紫外線照射滅菌施設棟新築
21.12	次亜塩素酸ナトリウム滅菌設備完成
22. 1	出西水源地用地購入（905 ㎡）
22.3	除鉄除マンガン濾過設備完成
22.10	第８配水池竣工
23. 3	紫外線照射滅菌設備完成
23. 7	出西水源地送水ポンプ電気機械設備完成
23. 8.11	**給水開始 50 周年記念日（記念誌発刊・記念碑建立）**
23.10. 1	**出雲市合併により新企業団として発足**
	宍道５地区簡易水道事業を統合
24.3.31	増補改良事業（第２期事業）竣工

24.4.1	**大黒山麓地区簡易水道事業を統合**
	宍道5地区、大黒山麓地区簡易水道統合整備事業着工
26.3.31	大黒山麓地区第1・第2中継ポンプ場竣工により直江配水池系統から送水開始
	工業用水ポンプ場電気・機械設備工事竣工、配水管整備工事竣工により第6配水池を利用した自然流下方式開始
27.3.30	新大野原配水池から配水開始
27.3.31	宍道5地区、大黒山麓地区簡易水道統合整備事業竣工
28.1.24～26	平成 28 年 1 月寒波被害
29.4.1	阿宮地区、島村地区簡易水道事業を統合
30.2. 6～12	平成 30 年 2 月寒波被害
令和2.3	除鉄除マンガン濾過設備（第２，４，６取水井分）完成
3.3	阿宮浄水場紫外線照射設備完成

２．施設所在地

	施　　設　　名	所　　在　　地
1	水道企業団庁舎	出雲市斐川町上庄原 1749-1
2	出西水源地	出雲市斐川町出西 762
3	出西配水池（第４配水池）	出雲市斐川町出西 3504-29
4	直江配水池（第６配水池）	出雲市斐川町直江 3393-8
5	荻田配水池（第７配水池）	松江市宍道町佐々布 1804-1
6	直江配水池（第８配水池）	出雲市斐川町直江 3597-3
7	下倉配水池	松江市宍道町白石 3524-15
8	畑配水池	松江市宍道町佐々布 1492－8
9	南企業団地配水池	松江市宍道町佐々布 868-52
10	金山配水池	松江市宍道町白石 2505－9
11	新大野原配水池	松江市宍道町西来待 1289-1
12	田根配水池	松江市宍道町上来待 3602－１
13	和名佐配水池	松江市宍道町上来待 3004－2
14	荻田送水ポンプ場	松江市宍道町佐々布 2292－3
15	畑ポンプ場	松江市宍道町佐々布 1418－3
16	佐々布旭ポンプ場	松江市宍道町佐々布 3557－7
17	金山ポンプ場	松江市宍道町白石 2477－2
18	来待大森ポンプ場	松江市宍道町上来待 64－4
19	田根ポンプ場	松江市宍道町上来待 1272－5
20	和名佐浄水場	松江市宍道町上来待 3279－2
21	下倉ポンプ場	松江市宍道町白石 829-17
22	久戸ポンプ場	松江市宍道町東来待 1822-7
23	岡の目ポンプ場	松江市宍道町佐々布 1115-4
24	工業用水道配水ポンプ場	出雲市斐川町出西 849-1
25	大黒山麓浄水場	出雲市斐川町学頭 4101-10
26	大黒山麓高所配水池	出雲市斐川町学頭 4025-15
27	大黒山麓第１中継ポンプ場	出雲市斐川町学頭 1400-5
28	大黒山麓第２中継ポンプ場	出雲市斐川町学頭 4281-4
29	阿宮浄水場	出雲市斐川町阿宮 836-7
30	阿宮配水池	出雲市斐川町阿宮 2196-2
31	畑谷ポンプ場	出雲市斐川町阿宮 2279-2
32	畑谷調整池	出雲市斐川町阿宮 2286-3
33	宮尾ポンプ場	出雲市斐川町阿宮 1050-4

３．指定業者協議会

（令和３年９月３０日現在）

	名　　称	所　在　地	電　話
1	島根水道㈱	松江市宍道町佐々布 213-25	0852－66－0041
2	㈲斐川水道	出雲市斐川町直江 4018-2	0853－72－0427
3	㈲福新工業	出雲市斐川町荘原 2181-2	0853－72－2110
4	三洋興産㈱	出雲市斐川町黒目 1181	0853－63－3418
5	㈱フクダ	出雲市斐川町沖州 1080	0853－72－0201
6	㈱斐川電工	出雲市斐川町直江 5153	0853－72－3000
7	一畑住設㈱宍道営業所	松江市宍道町白石 229-23	0852－66－7089
8	㈲アイテックいとがわ	松江市宍道町東来待 1966-9	0852－66－0867
9	㈱増原産業建設	松江市宍道町白石 1833-1	0852－66－1000
10	㈱原田水道工業斐川出張所	出雲市斐川町上直江 719-2	0853－72－4123
11	山陰クボタ水道用材㈱斐川営業所	出雲市斐川町上直江 453-1	0853－72－1552
	指定業者協議会事務局	出雲市斐川町荘原 1304-2	0853－72－9197

神庭谷ポンプ場

４．指定給水装置工事事業者

（令和３年９月３０日現在）

指定番号	指　定　日	名　　称	所　在　地	電　話
1	10.　4.　1	三洋興産㈱	出雲市斐川町黒目 1181	0853-63-3418
2	10.　4.　1	㈲斐川水道	出雲市斐川町直江 4018-2	0853-72-0427
4	10.　4.　1	㈱原田水道工業	出雲市塩冶町 826-12	0853-21-5055
5	10.　4.　1	イマックス㈱	出雲市高岡町 166-1	0853-21-0009
6	10.　4.　1	㈲福新工業	出雲市斐川町荘原 2181-2	0853-72-2110
7	10.　4.　1	山陰クボタ水道用材㈱	松江市平成町 182-15	0852-24-2418
8	10.　4.　1	㈱フクダ	出雲市斐川町沖州 1080	0853-72-0201
9	10.　4.　1	大成電気水道工業㈱	出雲市大津新崎町５丁目 50	0853-23-2755
10	10.　4.　1	山洋工業㈱	出雲市中野町 6-1	0853-21-3400
12	10.　4.　1	㈱八雲水機	出雲市塩冶有原町６丁目１	0853-22-7818
13	10.　4.　1	島根水道㈱	松江市宍道町佐々布 213-25	0852-66-0041
14	10.　4.　1	㈱出雲設備	出雲市平野町 646-1	0853-22-4880
15	10.　4.　1	山陰水道工業㈱	松江市母衣町 83-6	0852-24-3849
16	10.　4.　1	㈲平田水道工業	出雲市平田町 1321	0853-62-2097
17	10.　4.　2	島根電工㈱出雲支店	出雲市斐川町併川 887-1	0853-31-5840
18	10.　4. 14	山陰冷暖㈱	出雲市今市町 840-３	0853-21-3415
19	10.　7.　1	㈱園山設備	出雲市白枝町 797-11	0853-22-8672
22	10.　7. 21	森田産業㈱	出雲市白枝町 238	0853-28-2455
24	10.　7. 29	山陰酸素エンジニアリング㈱	松江市平成町 182-29	0852-24-2053
25	10.　7. 29	㈱太陽水道工事	松江市学園南１丁目 16-6	0852-22-3204
26	10.　8. 10	㈱吾郷設備	出雲市今市町南本町 37	0853-22-1175
27	10.　8. 20	㈲ホクヨウ	松江市西忌部町 35-2	0852-33-2280
28	10.　8. 20	新和設備工業㈱	松江市平成町 182－22	0852-24-5716
29	10.　8. 27	アクト㈱	出雲市斐川町直江 1311-1	0853-72-0766
30	10.　9.　1	アクアシステム㈱	安来市安来町 431	0854-22-3538
31	10.　9.　1	シンセイ技研㈱	松江市平成町 182-37	0852-21-5466
32	10.　9.　7	㈱おおやしろ工業	出雲市浜町 319-6	0853-22-7768
35	10.　9. 28	飯塚電気工事	出雲市斐川町三分市 2357-2	0853-63-3086
38	10. 11. 24	㈲新宮設備	出雲市松寄下 1716-3	0853-22-5753
39	11.　2. 17	㈲勝部建材店	出雲市西平田町 100	0853-63-1550
42	11.　2. 26	㈲青山設備	出雲市高岡町 56-1	0853-23-3715
45	11.　4.　1	㈱豊和設備	松江市東津田町 1205-3	0852-22-4463

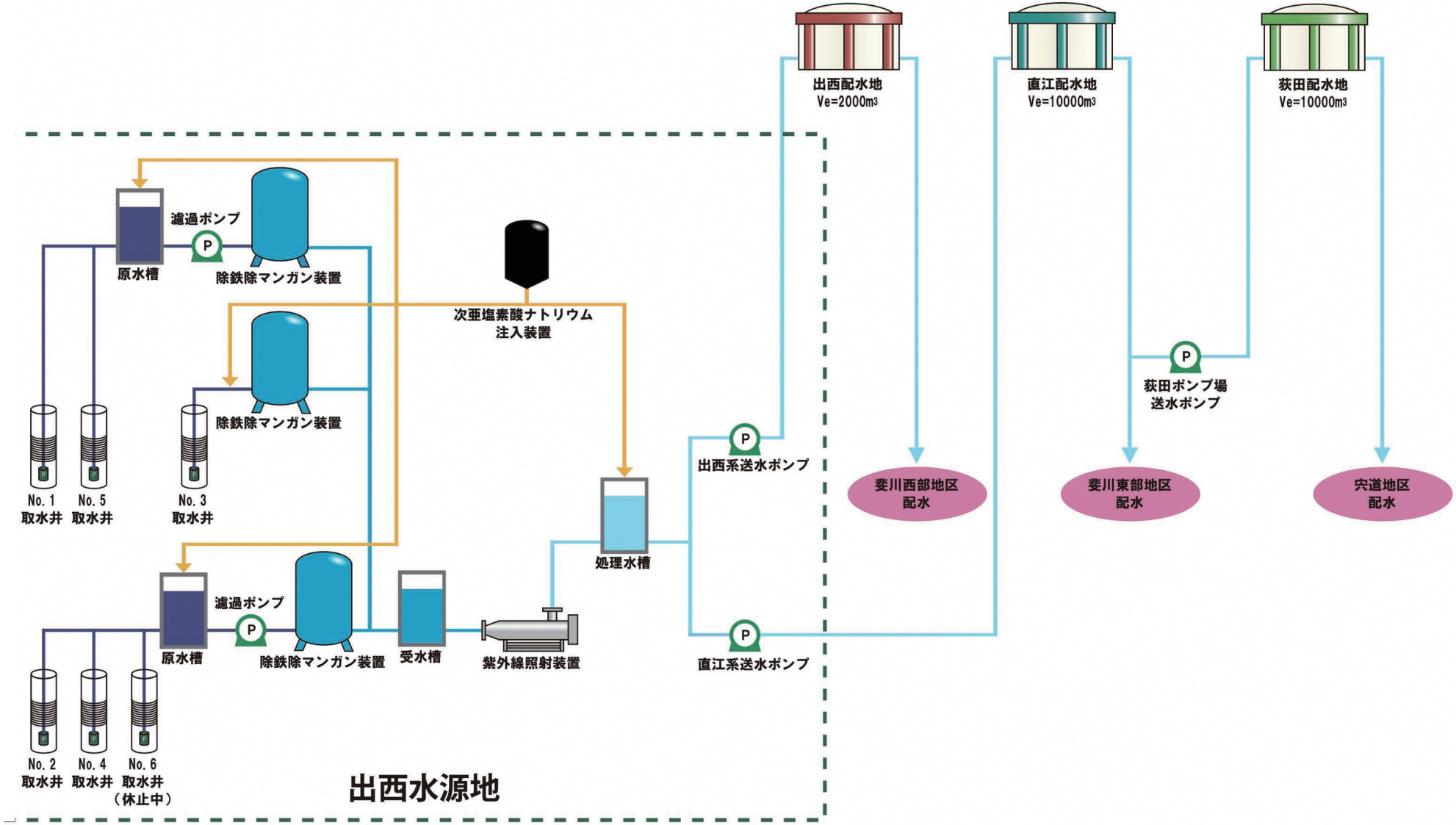
46	11. 4. 5	曽田工業	出雲市斐川町沖州 272	0853-72-3615
48	11. 5. 10	山陰フォーラム㈱	出雲市東神西町 95-2	0853-43-3211
50	11. 6. 29	岩成工業㈱	出雲市大社町杵築西 1892	0853-53-5151
52	11. 8. 25	㈲宇都宮工業	松江市竹矢町 1212	0852-37-1823
53	11. 10. 20	㈱斐川電工	出雲市斐川町直江 5153	0853-72-3000
54	11. 11. 16	㈲協同サービス	出雲市江田町 55-1	0853-21-6660
56	12. 2. 10	㈲柿田設備工業	出雲市大社町北荒木 461-3	0853-53-5998
58	12. 5. 1	大湖工業㈱	出雲市多久町 891	0853-62-3764
59	12. 6. 7	㈱ヒロクニ建設	出雲市斐川町上直江 1032-1	0853-72-6070
62	13. 7. 9	㈲エスエー工業	出雲市平野町 477-1	0853-30-1828
63	13. 9. 18	㈱シンコー工業	出雲市白枝町 839-2	0853-23-7170
65	13. 11. 27	㈲高見水道	安来市植田町 965	0854-28-6606
66	14. 3. 19	㈲大森設備	出雲市塩冶原町 1 丁目 5-16	0853-22-3941
67	14. 5. 21	㈱大湖設備	松江市浜乃木町 5 丁目 10-3	0852-25-5074
68	14. 6. 14	㈲トップ管工	雲南市加茂町大西 313-1	0854-49-9559
70	14. 10. 25	石田電気水道㈲	松江市東朝日町 82-4	0852-25-3333
73	15. 7 .18	青木水道㈲	出雲市大社町杵築西 2288	0853-53-3341
74	15. 8. 8	㈲森山組	出雲市稗原町 2124-7	0853-48-0036
76	15.10. 3	西部温泉工業㈱	出雲市今市町北本町 5 丁目 5-27	0853-22-9622
77	15.10.29	いずも建装	出雲市大津町 3737	0853-22-8330
79	15.11.18	㈲奥野水道	出雲市湖陵町板津 324-6	0853-43-1177
80	16. 2.23	曽田設備	出雲市松寄下町 1868-4	0853-28-2991
82	16. 3. 9	中国環境㈱	出雲市神西沖町 2489-2	0853-43-3636
83	16. 3.31	陰山工業	出雲市斐川町出西 3607-7	0853-72-2462
86	16. 5.10	㈲ダイチ工業	出雲市斐川町上直江 349-1	0853-72-4970
87	16. 5.20	㈲マツケン	雲南市木次町里方 1335-33	0854-40-0505
88	16. 7.21	㈲徳建	雲南市木次町東日登 508-8	0854-42-0346
89	16. 7.27	㈲アイテックいとがわ	松江市宍道町東来待 1966-9	0852-66-0867
90	16. 8.10	一畑住設㈱	松江市東朝日町 275-1	0852-67-2718
91	16. 8.26	㈱オンチョウ	松江市矢田町 250-105	0852-22-0330
92	16. 9.15	㈲三原住設工業	松江市東出雲町楫屋 150－4	0852-52-2504
93	16.12.22	竹内設備	出雲市大津町 2452-2	0853-23-2035
94	17. 1.25	㈲松原産業	雲南市木次町木次 788-1	0854-42-5580
95	17. 2.16	渡部設備	雲南市加茂町大竹 130-1	0854-49-8222
96	17. 4.26	㈲板持土木	雲南市木次町寺領 341	0854-42-5431
97	17. 6.13	㈲南場工務店	出雲市坂浦町 739	0853-68-0007
98	17.10.14	松栄設備㈱	松江市東出雲町意宇南 2 丁目 4-2	0852-52-6377
99	18. 3.30	㈲山洋電機商会	出雲市斐川町荘原 3055-4	0853-72-0727
100	18. 4.10	安本設備	松江市古志原 7 丁目 6-2	0852-61-1231

101	18. 9.13	ウオール開発	出雲市塩冶有原町 1-42	0853-21-5852
102	18. 9.21	㈲鎌田組	出雲市松寄下町 1965	0853-22-6970
103	18.10.11	㈱陶山建設	雲南市木次町寺領 468-3	0854-42-0207
104	18.11.13	㈲パイプフレンド	鳥取市湖山町北３丁目 468	0857-28-1324
105	19.2.5	㈲グロウス	松江市八幡町 820-15	0852-37-0310
106	19.10.19	㈲舟木設備	雲南市大東町仁和寺 378	0854-43-3780
107	19.10.26	㈲野々村水道	雲南市大東町養賀 434	0854-43-2799
108	19.12.19	㈱島根水道センター	松江市東津田町 1076-4	0120-10-10-33
109	20.4.11	ハラ設備工業	出雲市斐川町荘原 2328-2	0853-72-8956
110	20.7.23	㈲伊藤石油	出雲市白枝町 592-2	0853-22-0247
111	20.10.3	イワタニ山陰㈱	松江市学園２丁目 16-37	0852-26-7771
112	21.1.20	又新㈲	雲南市木次町里方 1109-2	0854-42-1151
113	21.2.16	㈱ジェットクリーン	出雲市古志町 926-1	0853-21-6418
115	21.3.17	㈱増原産業建設	松江市宍道町白石 1833-1	0852-66-1000
116	21.5.1	㈱イマスイ	出雲市高岡町 297-1	0853-24-3434
117	21.6.1	積和建設山陰㈱	松江市東出雲町意宇南１丁目 2-2	0852-52-7801
119	22.3.1	ヤナセ工業㈲	松江市大庭町 279-5	0852-24-1738
120	23.4.22	小村設備	出雲市白枝町 261-2	0853-28-3850
121	23.10.20	サンプラス㈱	出雲市平野町 735	0853-21-2322
122	24.2.27	高野設備	出雲市荻杼町 625-2	0853-23-1279
123	24.4.16	㈱電設サービス松江営業所	松江市東朝日町 207-1	0852-28-4420
125	24.10.22	㈲錦織プロパン	出雲市姫原町 130-1	0853-21-2305
126	25.6.12	㈱イエスコーポレーション	出雲市古志町 391-1	0853-23-2535
127	25.8.26	林産業㈱	出雲市灘分町 2281-2	0853-62-1144
128	26.5.13	松白設備	松江市乃白町 539-2	0852-21-0910
129	26.10.17	㈲共栄住設	松江市東津田町 851-11	0852-27-2163
130	27.1.8	㈱もりやま	出雲市大社町菱根 1025-1	0853-53-5016
131	27.2.17	親共設備	松江市八雲町西岩坂 469-3	0852-54-1393
132	27.2.17	㈲大廻電器店	松江市宍道町昭和 19	0852-66-0508
133	27.4.15	㈲米田住設	仁多郡奥出雲町大呂 2380	0854-52-0412
134	27.7.6	こだま水工	出雲市稗原町 1109	0853-48-0469
135	27.8.12	㈱大畑設備	出雲市下横町 488-10	090-6435-2081
136	28.9.16	イマックス㈱雲南営業所	雲南市加茂町南加茂 706-11	0854-49-8420
137	28.10.20	イマックス㈱松江営業所	松江市玉湯町湯町 162-1	0852-67-3470
138	29.2.9	㈱倉橋工務店	出雲市野郷町 1900	0853-67-0108
139	29.2.15	㈲三島工業所	松江市八雲町日吉 282-14	0852-54-0285
140	29.11.15	内山設備㈱	松江市下東川津町 273-5	0852-67-6331
141	29.12.15	㈱高宮電気	松江市東津田町 1212-16	0852-60-1900
142	30.8.22	㈱クラシアン	岡山市南区下中野 1421-1	086-245-6471

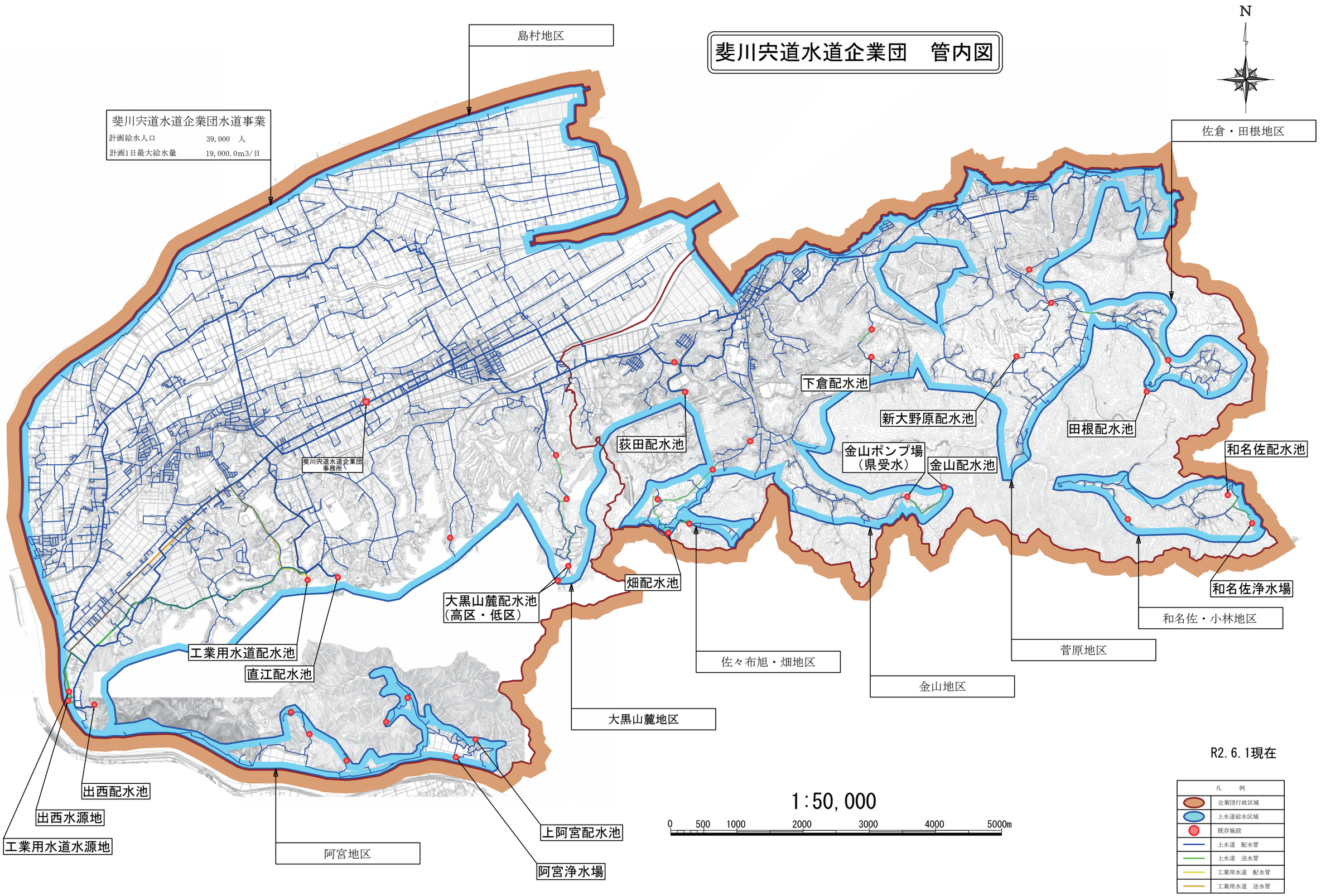
143	３０．９．１１	Ｍ－ｗｏｒｋｓ	出雲市大社町中荒木 1898-17	090-4656-8648
144	３１．２．２５	㈱清水設備	出雲市大津新崎町 1-56-1	090-2008-9730
145	３１．３．１２	㈲出雲市水道サービスセンター	出雲市姫原２丁目 9-13	0853-21-2802
146	３１．４．２	大福工業㈱	出雲市枝大津町 2-7	0853-21-4151
147	３１．４．１７	㈱STM 総建	雲南市三刀屋町三刀屋 54-4	0854-47-7435
149	R1.11.18	㈱衣笠設備	出雲市多伎町小田 137-61	0853-86-3055
150	R２．１．１４	㈲水コン大東	雲南市大東町田中 281	0854-43-6582
151	R２．７．１０	㈲庄徳水道	出雲市湖陵町差海 1876-6	0853-43-1364
152	R2.10.12	㈲山陰日化サービス	松江市東朝日町 168-8	0852-21-0030
153	R３．２．２４	㈱Ｎ－Vision	広島市中区鶴見町 8-57	082-275-5227

斐川宍道水道企業団フロー図

【出西水源地系】



斐川宍道水道企業団　管内図



阿宮浄水場

水道事業年報　（令和２年度）

令和2年4月1日～令和3年3月31日

編集　斐川宍道水道企業団
島根県出雲市斐川町上庄原 1749-1
電話（0853）72－8215
FAX（0853）72－8216

令和３年 10 月発行